

阿蘇サイン ガイドライン

平成18年3月
阿蘇広域行政事務組合

目次

0. サイン整備の目的と方針	
1. 計画の目的と進め方	1
2. 整備状況	2
3. 阿蘇サイン整備の方針	3
I. 自動車系誘導サイン	
1. 案内誘導システム	4
2. デザインシステム	8
II. 歩行者系案内サイン	
1. システム	16
2. 本体設計	24
III. 多言語化	
1. 多言語化における基本的な配慮	52
2. ガイドライン	54
3. 表記に当たっての留意点	57
4. ピクトグラム	65
IV. 阿蘇サイン整備の推進に向けて	
1. 阿蘇サイン整備の推進に向けて	71
2. 阿蘇サインの管理	71
3. 阿蘇サイン整備の推進体制	73
4. サイン整備を契機とする阿蘇地域の景観形成	75

0. サイン整備の目的と方針

1. 計画の目的と進め方

(1) 計画の目的

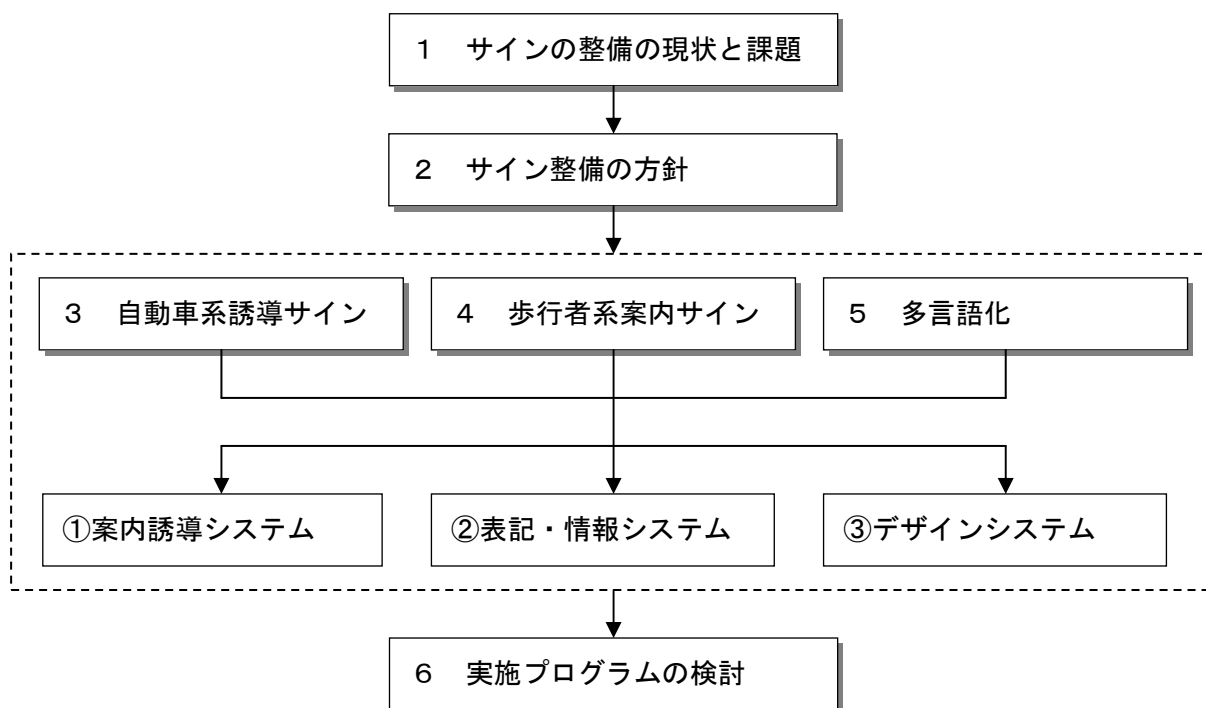
阿蘇地域には、五岳、外輪山、草原等で創り出される雄大な自然景観、そこでの営みから生み出されてきた山間の集落景観などの魅力的な景観が備わっている。この阿蘇地域全体の景観が、多くの人々の心を掴んで来訪するという行動へ結び付けており、阿蘇地域での人々の生活や観光活動を支える重要な基盤となっている。しかしながら、阿蘇地域の社会基盤となるこの魅力的な景観を守り育てていく取組みは積極的に行われておらず、阿蘇地域にそぐわない全国何処にでも見られる画一的で雑然とした景観が広がりつつあり、阿蘇地域の景観を守り育てていく取組みを早急に開始することが求められている。また、阿蘇地域における外国人観光客の近年での伸びは特に著しい傾向がみられ、国内客のみならず、外国人観光客への対応の強化も求められている。

このような中、「スローな阿蘇づくり」を基本とした、外国人をもてなす阿蘇地域の魅力の向上と多言語化による案内、地域における交流など、国際競争力のある観光地に向けた整備を行う「阿蘇地域観光ルネサンス事業」を推進している。

今般、この事業の一環として、阿蘇地域におけるサインの現況を踏まえ、雄大な阿蘇の自然環境にふさわしいサインのあり方を総合的に検討し、多言語化を取り入れた統一性と魅力ある体系的なサインに関する配置システムやデザイン、7市町村で一体となった実現化へのプログラムづくりを目的に、「平成3年度阿蘇サイン計画」の見直しを行いながら、それぞれの市町村におけるサイン整備のガイドラインとなる「阿蘇サイン計画」を策定する。

(2) 計画の策定の流れ

本業務は、自動車系誘導サイン、歩行者系誘導サイン、多言語化のガイドラインについて以下に示す流れにより進める。



2. 整備状況

ほとんどの市町村で整備中。

阿蘇市	<ul style="list-style-type: none">・阿蘇サイン計画のデザインを踏襲し、整備中。・3割は民地に設置。
南小国町	<ul style="list-style-type: none">・エリアに色をつけて、観光マップと連携したサインを整備。
小国町	<ul style="list-style-type: none">・順次整備中。・サインに番号をつけて誘導（問い合わせの際に現在地がわかるように）。・施設によって盤面を色分け（施設：白の盤面）。
産山村	<ul style="list-style-type: none">・サイン整備はほとんど完了。・木材を中心に、一部鋼材を使用。
高森町	<ul style="list-style-type: none">・年間100万円で整備中（約年2本）。・電話で不案内とのクレームが多い。クレームの多い施設から順次整備。
南阿蘇村	<ul style="list-style-type: none">・白水村、久木野村等で整備。・予算確保が難しい。・旧久木野村のサインが残っている。
西原村	<ul style="list-style-type: none">・整備中。・民間も含めたサインを民地へ設置。

サインに番号や色をつけて、パンフレットと連動させている。

道案内の対応をしやすいするために、サインに番号をつけている。問い合わせの際に現在地がわかり、案内しやすい工夫をしている（小国町、南小国町、産山村）。また、そのサイン番号とパンフレットを連動させている。

色は阿蘇ブラウンが多く、民間のサインや広告物にも波及している。

デザインは阿蘇サイン計画のものをアレンジしている。

色はほとんど阿蘇ブラウンを使用している。民間のサインや広告物も「阿蘇ブラウンに白抜き文字」が多く見られる。

デザインは平成3年の阿蘇サイン計画のものをアレンジしており、各市町村で若干の差がある。ポイ捨て禁止等のサインにも同様のデザインが使用してあり、色やデザインが定着しつつある。

広告物やサインが乱立し、統一性に欠けている。

広告物やサインが一部で乱立し、見苦しい状況になっている。“阿蘇はひとつ”との考えから、民間も含めた統一性のあるサインが望まれる。

3. 阿蘇サイン整備の方針

阿蘇の観光振興の方向性

スローな阿蘇づくり
・
阿蘇カルデラツーリズム

阿蘇地域観光ルネサンス
＜滞在型観光＞
＜外国人へのもてなし＞

阿蘇サインの役割

世界各国の人々を魅了する阿蘇の雄大な景観の継承

- ・一部で乱立する広告物やサインが、阿蘇の雄大な景観を阻害しつつあるため、集合化し質の高い統一性のあるサインとすることで阿蘇ブランドを高め、雄大な景観を継承していく役割を担う。

誰もが自由に移動でき阿蘇を満喫できる環境の構築

- ・阿蘇を訪れる全ての人が自由に移動できる手助けとなる役割を担う。

阿蘇サイン整備の方針

来訪者誰にもわかりやすいサイン

- ・日本各地からの来訪者だけでなく外国人も含めた来訪者、また自動車利用に加え公共交通を利用した自転車や歩行者など、来訪者誰もが自由に移動できるようわかりやすいサインとする。

阿蘇の景観を構成する一要素として融合するサイン

- ・公共サインを含む屋外広告物は、景観を構成する大きな要素であり、阿蘇振興の源である雄大な景観を阻害することなく、その景観に融合したサインとする。

阿蘇はひとつを共有、認識できるサイン

- ・阿蘇山をはじめとする風土、環境は、阿蘇に暮らす人々にとって共通のシンボルであり、ひとつの地域として阿蘇を認識できるサインとする。

I. 自動車系誘導サイン

1. 案内誘導システム

(1) 基本的な考え方

最小限の掲出による的確で効果的な誘導

雄大な阿蘇の景観を構成する一つの要素としてとらえ、サインの乱立による沿道の景観を阻害しないようサインの掲出は最小限に抑え、道路標識やパンフレットなどと連携した的確でわかりやすく、最大の効果を生み出すサインとする。

民間の屋外広告物（道標）と連動した必要以上の屋外広告物の排除

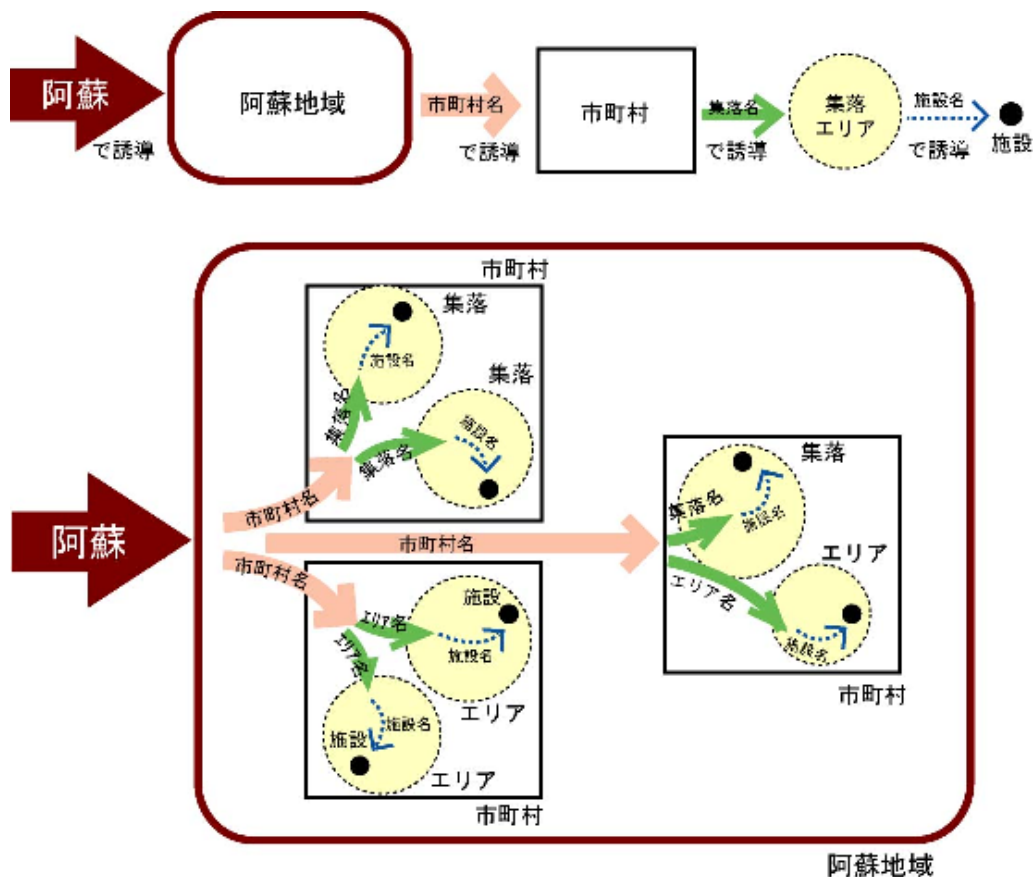
民間が掲出する屋外広告物（道標）の大規模化、数の増加により景観が悪化しないよう、公共のサインを基軸に民間屋外広告物（道標）が補完する両者が連動した誘導とする。

(2) 誘導のルール

階層（方面、エリア、施設）による誘導

主要な国県道で道路標識（108系）により「阿蘇」や市町村名などの方面案内が行われている。熊本県でも国道57号への自動車の集中を避け渋滞のないスムーズな阿蘇への車輛誘導のため、4つのアクセスルートを用意し、表示の統一など、道路標識の改善を行っている。

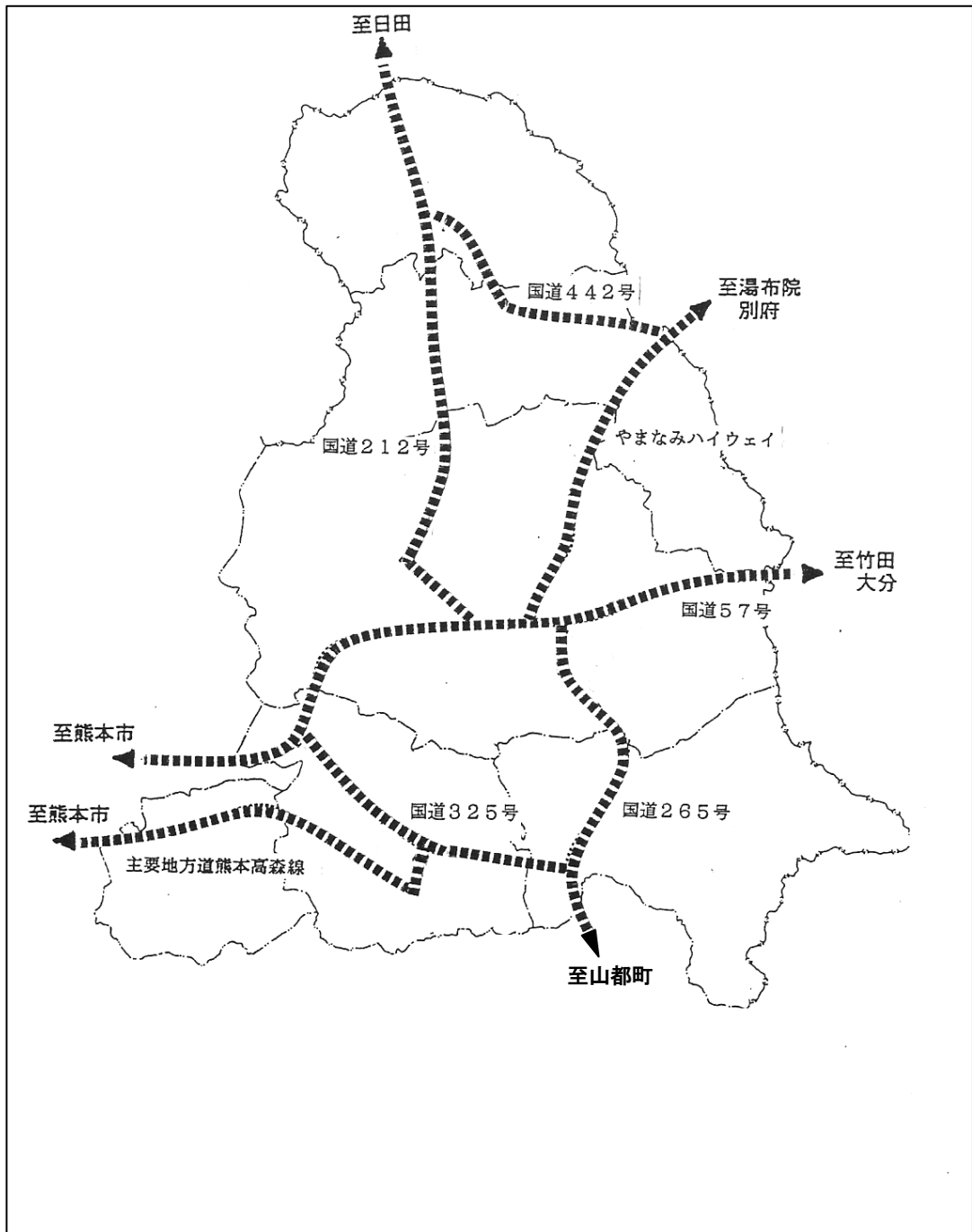
必要以上のサインの掲出を抑えるため、道路標識と連動した方面案内による市町村への誘導、市町村内でのエリアへの誘導、そして施設への誘導となる階層による誘導を行う。



骨格的な道路を軸とした誘導

阿蘇地域では、その中央を横断する国道 57 号をはじめ、国道 212 号や主要地方道熊本高森線、やまなみハイウェイなどの主要な国県道が骨格的な道路体系を構成し、道路標識により方面案内が行われている。

的確にわかりやすく誘導していくために、こうした骨格的な道路を活用するとともに、市町村内の誘導においても来訪者が迷うことがないように主要な道路を活用した誘導を行う。



方面、不特定多数の利用施設等による序列に応じた誘導

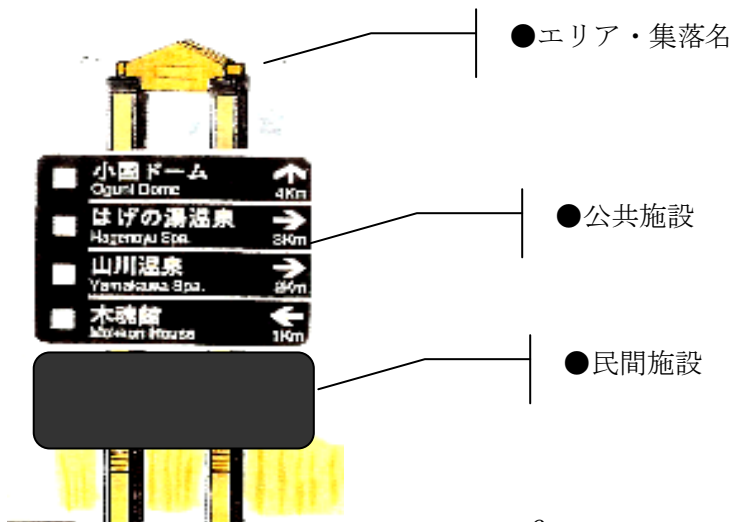
全ての施設を同じように誘導しては、サインの掲出箇所の増加、サイン板面巨大化もしくは表示内容乱雑化が生じ、阿蘇の景観の阻害、自動車系サインの誘導機能の低下を招く。

誘導する施設は、公共施設を優先しながら民間施設も含めて、公共性や利用する対象などに配慮し4段階の序列を設けて誘導を行う。

	公共施設		民間施設
	方面、市町村、エリア	施設	
第1次情報	阿蘇 市町村名	広域的な方面を示す 目標となる地点や施設 例) 内牧温泉、大観峰など	
第2次情報	エリア、集落 例) 黒川温泉、内牧温泉 など	地域外の人でも利用する 広域性の高い施設 例) 阿蘇駅、小国ドーム、 白糸の滝 など	公共性の高い、 集客力の高い施設 例) ゴルフ場、 大規模レジャー施設 など
第3次情報		その他の公共施設	文化的な施設 例) 窯元、 ギャラリー など
第4次情報			その他の施設 例) 飲食店 など

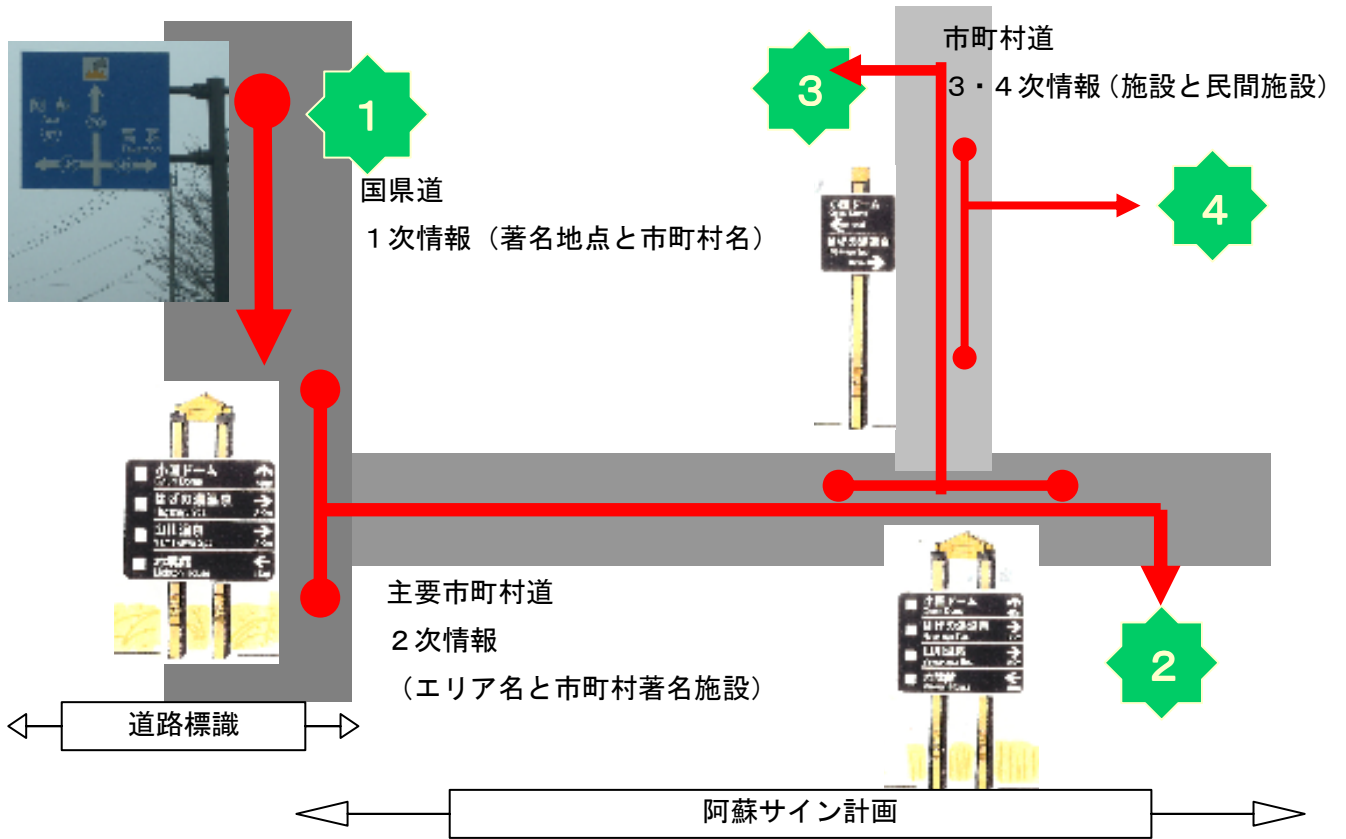
* 民間施設は、公共施設やエリア、集落と共に集合化して表示することで公共サインとしての機能を持つこととなるため、民間施設のみものは本ガイドラインの対象とはならない。

エリアや集落名、公共施設、民間施設について以下のように掲出の分担を基本とする。



(3) 誘導体系

誘導のルールに基づき、基本となる誘導の体系を以下のように設定する。



		道路のランク		
		国県道 (阿蘇地域の骨格をなす道路)	主要市町村道 (市町村内の主要な道路)	市町村道 (施設等へのアプローチとなる道路)
施設レベル	1次情報	・道路標識と連動し、1次情報と2次情報を基本に掲出	—	—
	2次情報		・道路標識と連動し、2次情報と3次情報を基本に掲出	—
	3次情報	・道路沿道については、自家用広告物の掲出	・道路沿道については、自家用広告物の掲出	・3次情報と4次情報を基本に掲出
	4次情報			・道路沿道については、自家用広告物の掲出

2. デザインシステム

(1) 方針

平成3年度「阿蘇サイン計画」では、国立公園における色彩基準を踏まえ、阿蘇の自然に融合する「阿蘇ブラウン」を基調色とするデザインが示されている。このデザインは、当時の阿蘇12町村が一同に会し、阿蘇全体の景観形成と各町村の個性化のバランスの中で、「阿蘇はひとつ」の基に決定された。各町村で、このデザインのコンセプトを踏まえたサインが整備され、民間の屋外広告物にも波及して広く認知されてきている。

今後このデザインを基本に、合併により新たに誕生した市町村のデザインコンセプトとの連携を図りながら、ひとつの地域としての阿蘇のイメージを発信するデザインとする。

(2) 表記

施設名や地点名などを示す文字情報は、サインが伝達する情報の大部分を占めている。視認性や表示面での調和、加工性を考慮し、文字情報を見やすく確実に利用者に伝える共通基準を設定する。

①書体

高速で移動する自動車利用による安全性を考慮し、日本語と英語の併記とする。

■日本語

○ゴナDBを基本書体として採用する。

- ・ゴナDBは、文字の線幅がほぼ一定で可読性に優れているため、高速移動中に判読する自動車系には適しており、変形（長体）使用にも適している。

愛のあるユニークで豊かな書体

■英語・数字

○ヘルベチカレギュラーを基本書体として採用する。

- ・英文・数字の書体は、和文書体との関係が重要であり、和文と同系の書体を選定する。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

1234567890

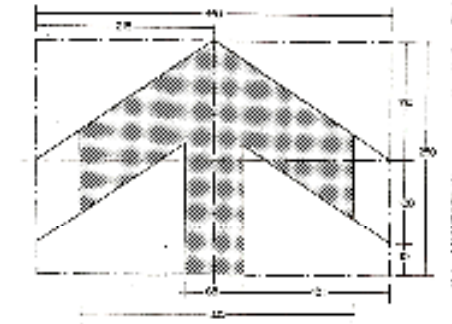
1Km

100m

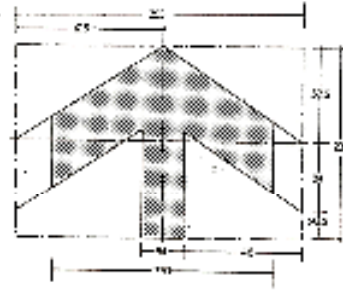
②矢印

高速で移動する自動車利用による安全性を考慮し、以下のように矢印を統一する。

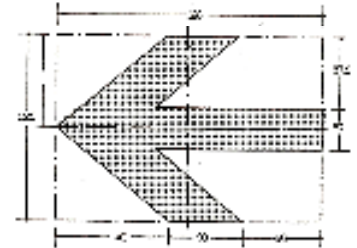
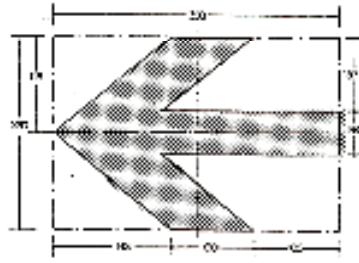
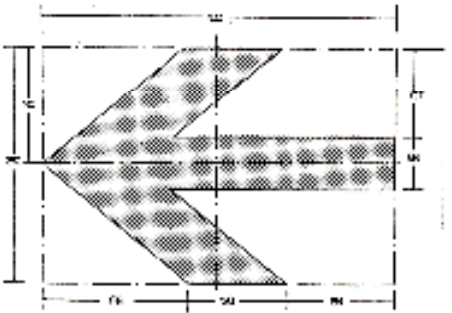
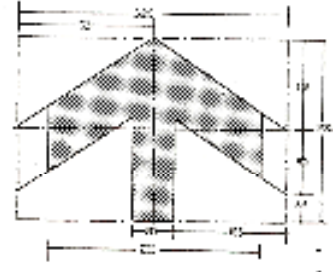
文字高 250 mm



文字高 200 mm



文字高 150 mm



③文字高

基準となる日本語の文字高は、200 mmを標準とし、可読距離と移動速度により 250 mmと 150 mmの3タイプとする。

道路幅員と見る人の移動スピード (km/h)	和文文字高	可読距離	矢印
道路幅片側3車線以上及び制限速度 50 km/h以上の道路	25 cm	85m	28 cm×43 cm
道路幅片側1車線以上2車線以下、及び制限速度 30 km/h 以上 50 km/h 以下の道路	20 cm	68m	23 cm×35 cm
車数のない道路、及び速度制限 30 km/h 以下の道路	15 cm	51m	22.5 cm×32.5 cm

■参考資料 (文字の大きさと視認距離)

(福岡市都市サインマニュアル 監修：九州芸術工科大学助教授 佐藤 優より)

見る人の 移動スピード (km/h)	視認される 距離 (m)	文字高 (cm)	使用される 場所・内容
60 km/h (通常に走行する車)	約 100m	30 cm	
60 km/h (通常に走行する車)	80m	23 cm	片側2車線以上2方向以下
60 km/h (通常に走行する車)	70m	20 cm	片側2車線以上3方向
40 km/h (市街地を走行する車)	40m	12 cm	一般道路・複合施設・タイトルなど
40 km/h (市街地を走行する車)	35m	10 cm	一般道路・複合施設・タイトルなど
20 km/h (徐行する車)	30m	8 cm	方向案内・タイトルなど
5 km/h (歩行する人)	15m	4 cm	方向案内・タイトル・見出しなど
5 km/h (歩行する人)	10m	2.5 cm	方向案内・タイトル・見出し・表など
0 km/h (立ち止まる人)	1.5m	1.0 cm	本文一般・解説など
0 km/h (立ち止まる人)	0.5m	0.4 cm	詳しい解説・地図など
0 km/h (立ち止まる人)	0.3m	0.2 cm	地図・分類記号など

※上の表は、視力0.9以上の人の標準です。

④ピクトグラム

文字情報だけでなく、記号として情報を判断していけるようピクトグラムを表示する。

ピクトグラムは、「Ⅲ. 多言語化 4. ピクトグラム」に示す交通エコロジー・モビリティ財団の「標準案内用図記号」を基本的に使用する。その他、阿蘇のアイデンティティを表現するとともに、各市町村で共通する情報については統一したものの使用を原則とするが、その他市町村の施設については独自のピクトグラムを使用する。

ピクトグラムの大きさは、日本語文字高の1.5倍を原則とする。

■共通したピクトグラム



神社



水源



記念碑等



峠



寺院



樹木



峡谷・山



ゴルフ場



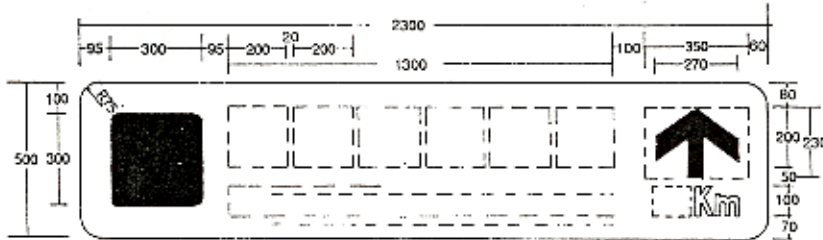
滝

⑤板面レイアウト

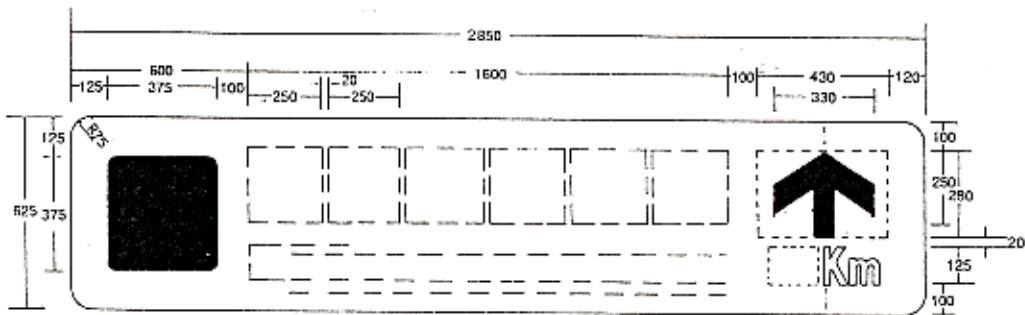
板面をモジュール化し、全体での統一化が保たれるよう構成し、複数の情報から単独の情報を見つけることが容易なレイアウトバランスとする。

6文字を基本とし、それ以上になる場合は長体を使用する。併記する和文・英文は文字頭合わせとする。矢印は上段より直進、左折、右折の順とする。

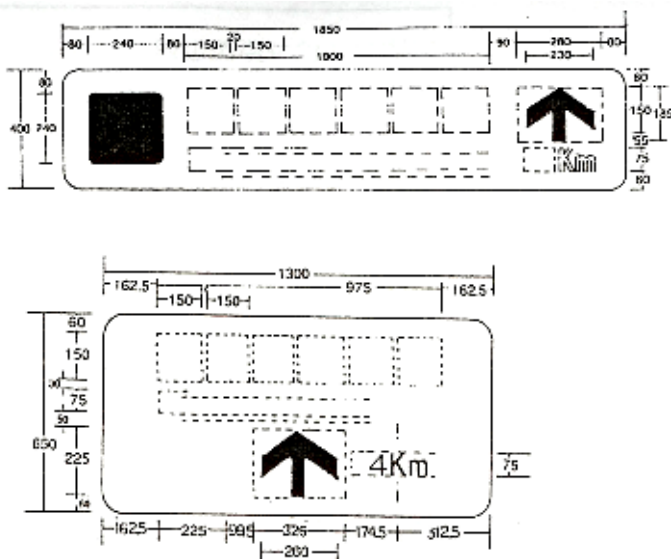
■標準（200 mm）レイアウト



■大型（250 mm）レイアウト



■沿道（150 mm）レイアウト


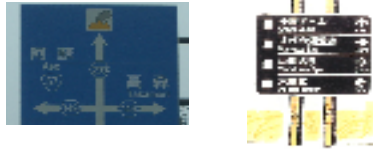
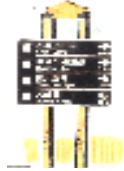



⑥色彩

周辺の環境に融合するようダークブラウン（阿蘇ブラウン）を基本とする。

地 色	ダークブラウン（阿蘇ブラウン）
文 字 色	白
矢 印	白
ピクトグラム	白（一部カラーも可）
シンボルカラー	赤（阿蘇市） 緑（南小国町、小国町、産山村） 水色（高森町、南阿蘇村、西原村）

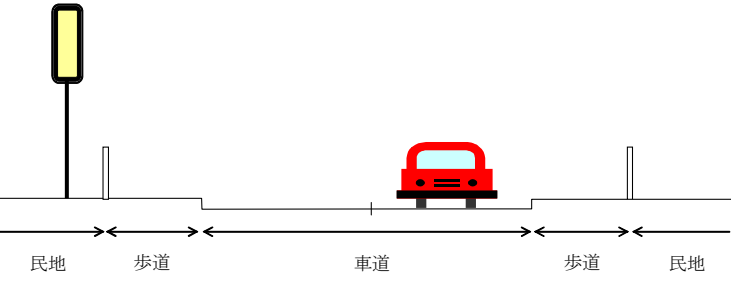
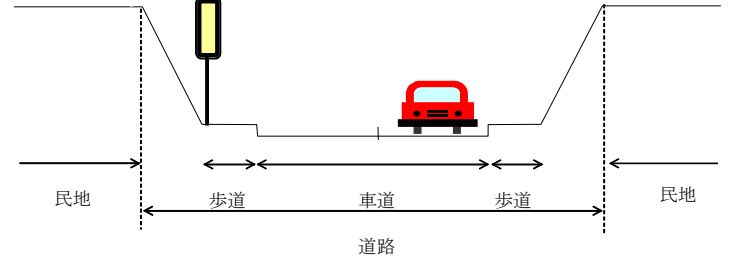
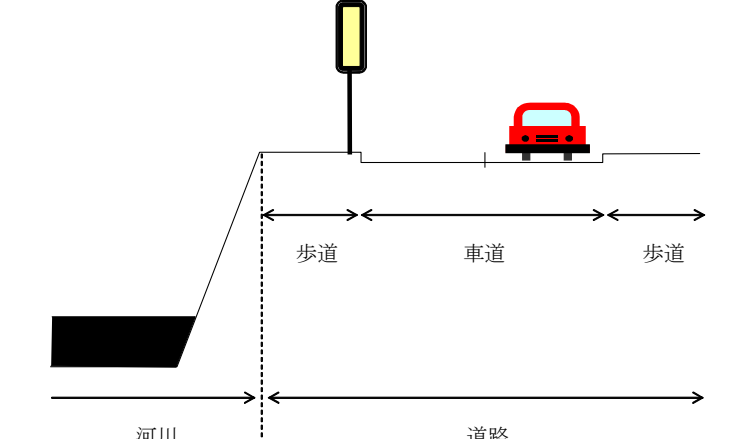
(3) サインのタイプ

		施設の情報レベル	サインのタイプ
阿蘇地域外	「阿蘇」 で誘導	「阿蘇」 (1次情報)	
阿蘇地域内	「市町村名」 「主要エリア」	1次情報	
市町村内	「エリア」 「集落」 で誘導	第2次情報	
エリア 集落	「施設」 で誘導	第3次情報 第4次情報	

(4) サイン設置の留意点

サイン設置場所は、道路沿いの民地を基本とする。

道路沿いが、法面となっている場所や河川敷となっている場所など民地への設置では自動車からの視認性が十分に確保できない場合は、道路内へ設置を行う。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">基本的な設置</p>	<p>○道路沿いの民地への設置を基本とする。</p> 
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">法面等により視認性が確保できない場合</p>	<p>○法面の上ではサインとして機能しないため、道路敷に設置する。</p> 
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">河川等により設置場所が確保できない場合</p>	

Ⅱ. 歩行者系案内サイン

1. システム

歩行者系案内サインは、主に公共交通機関等を利用して楽しむ人々に対しての地区の案内や、観光施設や集客施設等が集積する市街地等を対象に、目的地への誘導を最小限の設置で適切に行えるようにしていくものである。歩いて楽しむ新しい阿蘇の観光スタイルの形成の一役を担うものである。整備するサインの種類、配置の体系等を利用者の行動心理、都市構造から検討していく。

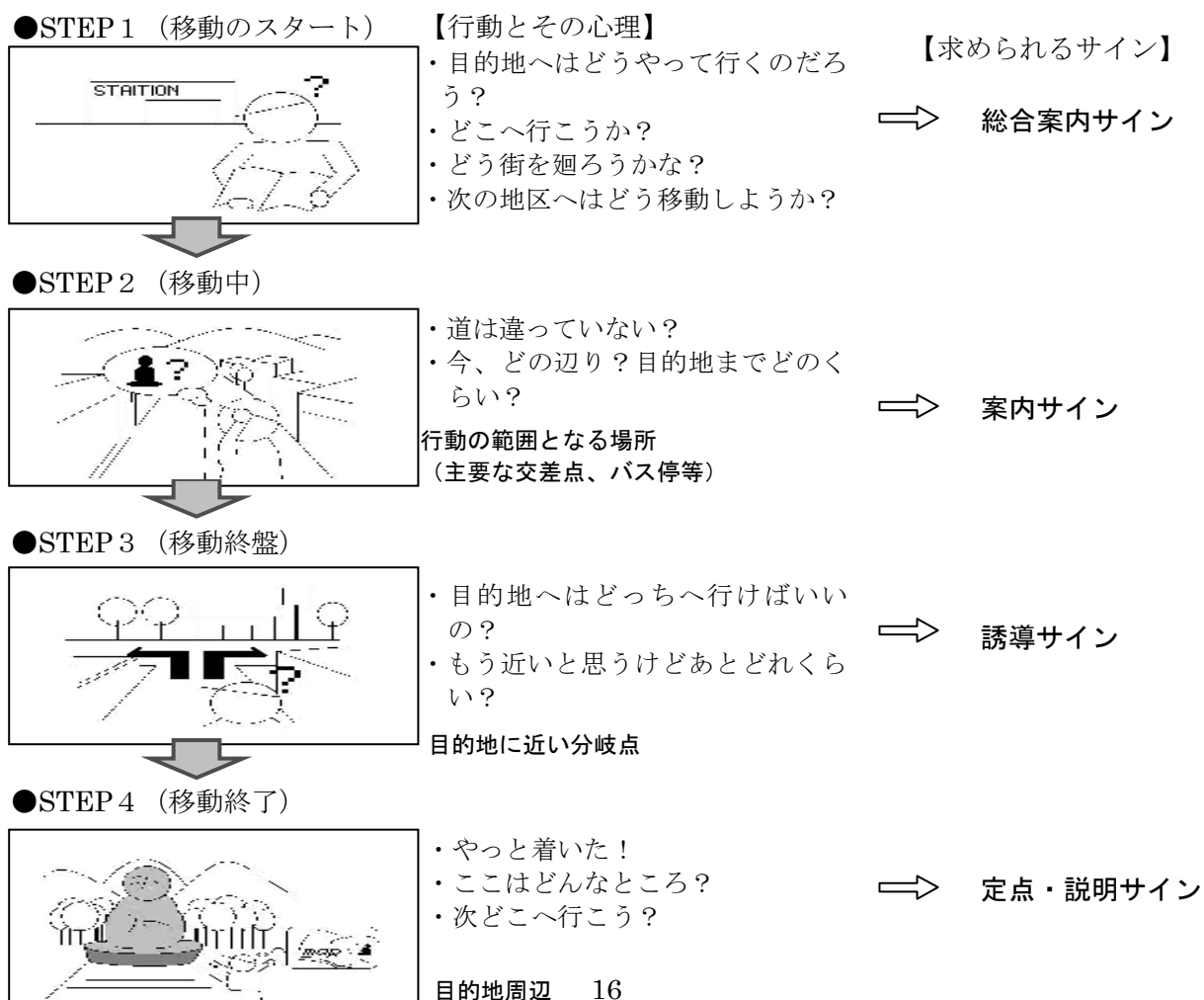
(1) 整備するサインの種類を検討

整備するサインの種類を決定していくには、観光客をはじめとする利用者の行動を基本に、どこでどのような情報を求めているかを把握することが大切であり、それにより利用者の行動に沿ったサイン環境が形成されていくと思われる。

サイン利用者の行動心理を基本に、整備対象となるサインの種類を決定していく。

①サイン利用者の行動心理と求められるサイン

歩いて阿蘇を楽しむ人々の行動心理を整理すると、大きく5つのステップに分けることができる。



②サインの種類と役割

前項で整理した利用者の行動心理を基本にした、4つのサインの種類と役割と内容はこの通りである。

サインの種類	設置場所	役割	必要とされる情報
総合案内サイン	交通ターミナル（駅、バスターミナル、大規模駐車場等）など人の行動の起点となる場所	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">STEP1、STEP5の役割を担う</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地の探索 ・ 目的地の位置把握 ・ 順路移動手段の把握 ・ 市内他エリアの位置、隣接市町村の位置把握 ・ 移動手段の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿蘇地域案内図 ・ 地区案内図 ・ 施設誘導 ・ 現在地 <p style="text-align: right;">等</p>
案内サイン	交差点、バス停など行動の節目となる場所	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">STEP2の役割を担う</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在地の確認 ・ 目的地の位置確認 ・ これからの順路の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区案内図 ・ 施設誘導 ・ 現在地 <p style="text-align: right;">等</p>
誘導サイン	交差点、曲がり角など行動が変化する場所	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">STEP3の役割を担う</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地の方向 ・ 目的地までの距離 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設誘導 ・ 現在地 <p style="text-align: right;">等</p>
定点・説明サイン	目的地の入口となる場所	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">STEP4の役割を担う</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地への到着 ・ 目的地の説明 <p>必要に応じて</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次目的地の提案 ・ 次目的地の位置把握 ・ 次目的地までの順路移動手段の把握 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定点案内 ・ 施設説明 <p style="text-align: right;">等</p>

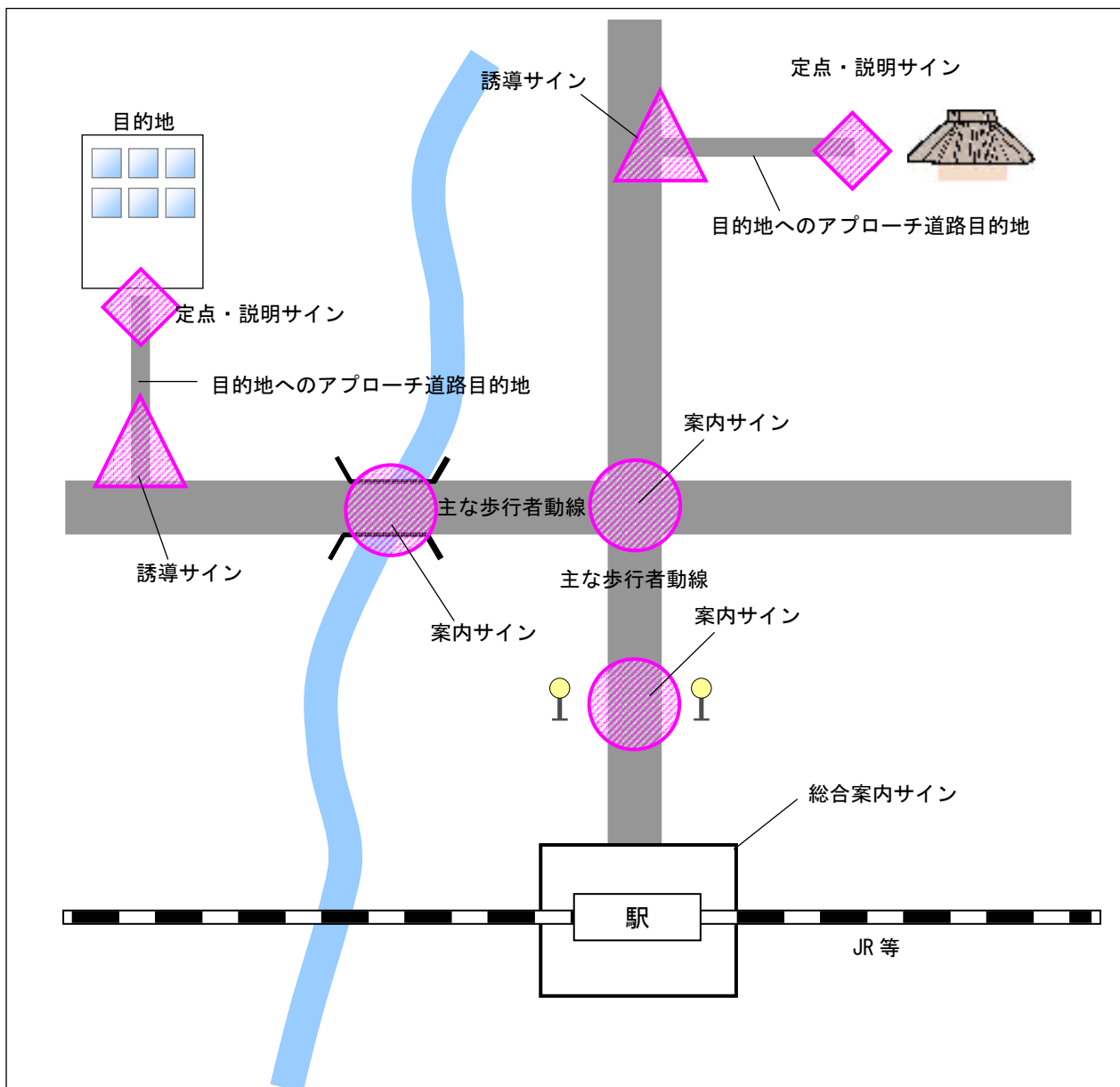
③配置の基本パターン

必要とされる4つのサインがまちの構造の中でどこに必要とされるかを把握し、どこに配置すると効果的かを基本パターンとして以下のようにまとめる。

駅等の交通拠点、ターミナルには、総合的な情報提供を行う「総合案内サイン」を配置し、利用者のまちでの行動をスタートさせる。その後、移動中の主動線上の主要な交差点、バス停、その他行動の節目となる場所等には現在地・目的地の位置、そこまでの道順を確認できる「案内サイン」を配置していく。

「誘導サイン」は、移動の主動線上の目的地への接近の拠点、又はその後のアプローチルート上の必要なところに設置され、目的地の方向を利用者に知らせていく。「定点・説明サイン」には、施設内の整備が基本としていくと思われ、本計画の整備対象から除いて考えていくが目的地の入口に設置され、施設への到着、施設の内容を知らせていく役割を担っている。

■配置の基本パターン図



(2) 情報の役割と掲載の考え方

各サインが提供する情報の役割とその情報の掲載する項目の考え方は以下の通りである。

	情報の種類	役割	掲載項目の考え方
阿蘇地域案内図		● 駅、ターミナル等の拠点において移動する利用者に市内の全体の地理の概況を知らせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の地理と移動手段の把握の為に、地形、主要な道路、交通機関等を表示する。 ・地域内移動での目印となる施設、多くの人を利用する主要な施設を表示する。
地区案内図		● 移動中に、現在地の確認、周辺の地理を理解させ、目的地の今後のルートを確認させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・移動の手掛かりとなるよう、地形、道路等は現場に沿って細かく表示する。 ・利用者の目的地となると思われる施設は、広く表示する。 ・移動の手掛かりとなるように、著名施設や目印となる大規模施設を細かく表示する。 ・民間施設についても、可能な限り表示し、移動の手掛かりとしていく。
施設誘導情報		● 目的への具体的方向、距離を知らせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・多用しすぎるとサインの氾濫を招く恐れがある為に、主要施設に限り表示する。

(3) 掲載する項目の整理

前項で示した役割と掲載の考え方をもとに、各情報に掲載する項目を整理する。項目の整理には、公共空間に設置するサインにふさわしいこと、情報量を適切に保つことの2点を視点に行う。

公共空間に設置されるものであるが、公共施設に限り表示したのでは、観光客、来訪者に対応しづらい。又、公共施設であっても利用者が限定されるもの等は必要性が低いと思われる。よって、利用者ニーズを十分に考え、一部民間施設を含めた項目の設置を行っていく。

掲載する量は豊富なほど移動の手掛かりを得やすく、利便性が高くなっていく。しかし、表示スペース、公共空間の占用には限界がある。利用者ニーズ、利便性を考慮し、項目の設定を行っていく。

■阿蘇地域案内図

<役割>

- ・駅、ターミナル等の拠点において、阿蘇地域内を移動する利用者に市内の全体の地理の概況を知らせる。

<掲載項目の考え方>

- ・地域の地理と移動手段の把握の為に、地形、主要な道路、交通機関等を表示する。
- ・移動での目印となる施設、多くの人を利用する主要な施設を表示する。

■掲載項目抽出の目安

項 目		掲載が望ましい施設等	備 考
道路等	道路名	国道、県道、登山道等の主要な道路	
交通機関	空路	空港	
	鉄道	鉄道路線、鉄道駅	
	バス・タクシー	バス路線、バスターミナル	
公共施設	行政施設	国県市町村の主要な行政機関、市役所、警察署等	
	公園・緑地	大規模な公園	
公共的施設	文化施設	主要なもの	
	スポーツ施設	移動の手掛かりになる規模の大きなもの	
	史跡・名勝	特に著名な大規模な施設	
	観光施設	大規模な施設	

■地区案内図

<役割>

- ・移動中に、現在地の確認、周辺の地理を理解させ、目的地の今後のルートを確認させる。

<掲載項目の考え方>

- ・移動の手掛かりとなるよう、地名、道路等は現場に沿って細かく表示する。
- ・利用者の目的地と思われる施設は、広く表示する。
- ・移動の手掛かりとなるように、著名施設や目印となる大規模施設を細かく表示する。
- ・民間施設についても、可能な限り表示し、移動の手掛かりとしていく。

■掲載項目抽出の目安

項 目		掲載が望ましい施設等	備 考
道路等	道路名	道路全般、主要な橋、主要交差点、通り名称	
交通機関	鉄道	鉄道路線、鉄道駅	
	バス・タクシー	バス路線、バスセンター、バス停 主要な駐車場	
公共施設	行政施設	国・県・市町村の行政機関、警察署、消防署、郵便局、裁判所、税務署、法務局、保健所等	
	公園・緑地	公園や緑地等	
	教育施設	小・中・高等学校、大学、短期大学等	
	医療施設	公立の病院、総合病院	
	福祉施設	福祉事務所等	
公共的施設	文化施設	図書館、美術館、博物館、ホール、文化会館等 動物園、植物園等	
	スポーツ施設	体育館、陸上競技場、野球場、プール、テニスコート等	
	史跡・名勝	史跡・名勝として重要な神社、寺社、教会等 国・県・市町村の指定する文化財	
	その他	観光施設、観光案内所、催物会場、公衆トイレ等	
移動の目印となる施設	宿泊施設	ホテル、旅館等	民間施設も含めていく
	商業施設	第一種または第二種大規模小売店舗 商店街	
	その他	移動の手掛かりとなる大規模、著名なビル等	

■施設誘導

<役割>

- ・目的地への具体的方向、距離を知らせる。

<掲載項目の考え方>

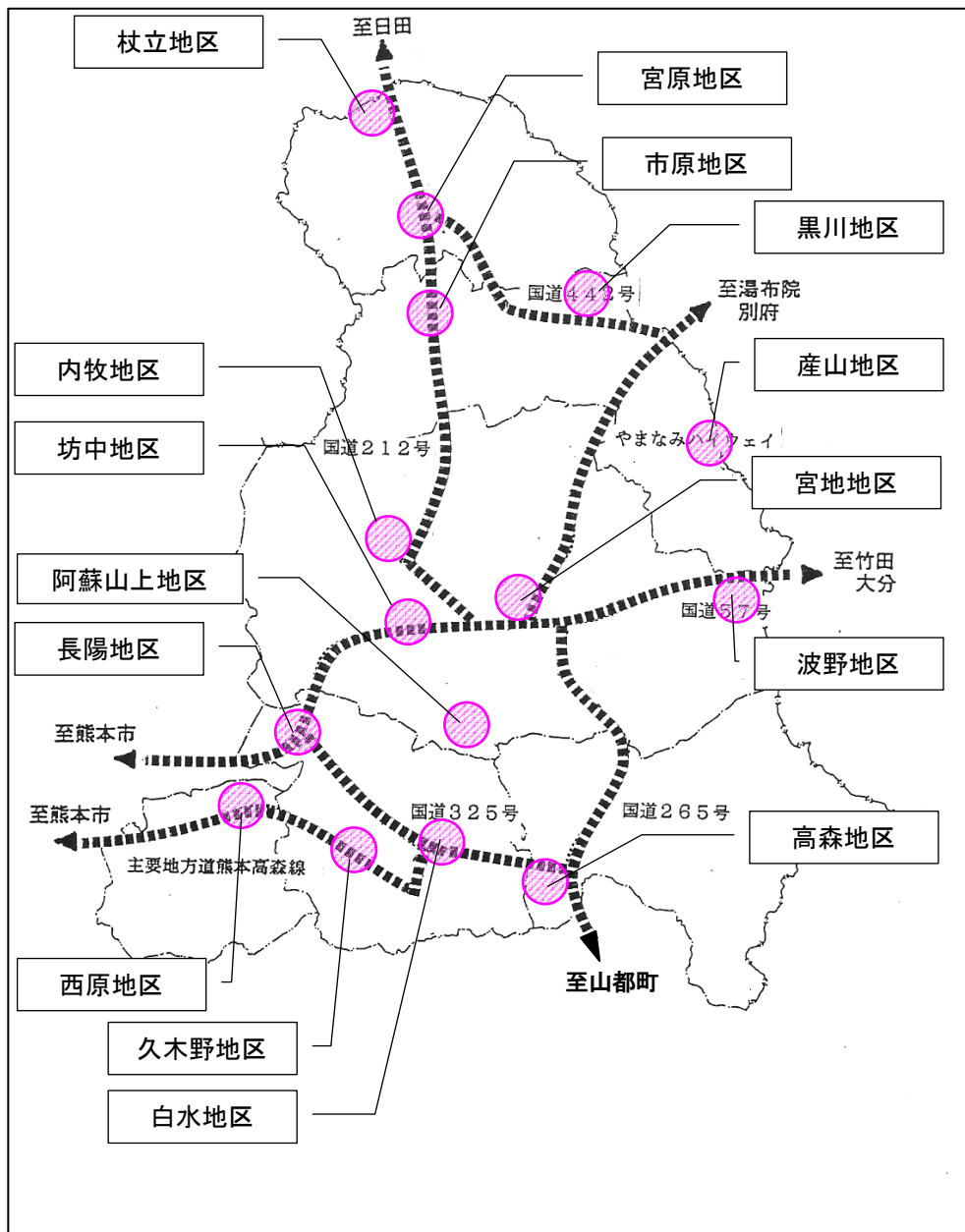
- ・多用しすぎるとサインの氾濫を招く恐れがある為に、主要施設に限り表示する。
- ・基本的に公共施設の表示とし、民間施設は交通機関等の公共公益性が高く不特定多数の人々が利用するものに限り表示する。

■掲載項目抽出の目安

項 目		掲載が望ましい施設等	備 考
交通機関	鉄道	鉄道駅	
	バス・タクシー	バスセンター、バス停、主要な駐車場	
公共施設	行政施設	国・県・市町村の行政機関、警察署、消防署、郵便局、裁判所、税務署、法務局、保健所等	
	公園・緑地	大規模な公園、緑地等	
	教育施設	大学、短期大学等	
	医療施設	公立の病院	
	福祉施設	福祉事務所等	
公共的施設	文化施設	図書館、美術館、博物館、ホール、文化会館等	
	スポーツ施設	体育館、陸上競技場、野球場、プール、テニス、コート等	
	集会施設	市民会館等	
	史跡・名勝	史跡・名勝として重要な神社、寺社、教会等 国・県・市町村の指定する文化財等	
	その他	観光施設、観光案内所等	

(4) 整備地区（案）

歩行者系案内サインは、歩いて楽しむ新しい阿蘇の観光スタイルを支えるものである。整備を進めていく地区は、阿蘇地域の中で歩いて楽しめる範囲に観光施設等が集積する市街地で、公共交通機関や大規模駐車場を拠点にする地区を対象とする。これまでに阿蘇地域観光推進協議会の「阿蘇地域ウォーキングマップ」で定められた12地区に、今後の観光振興策を加味して下記の地区を基本に進めていく。

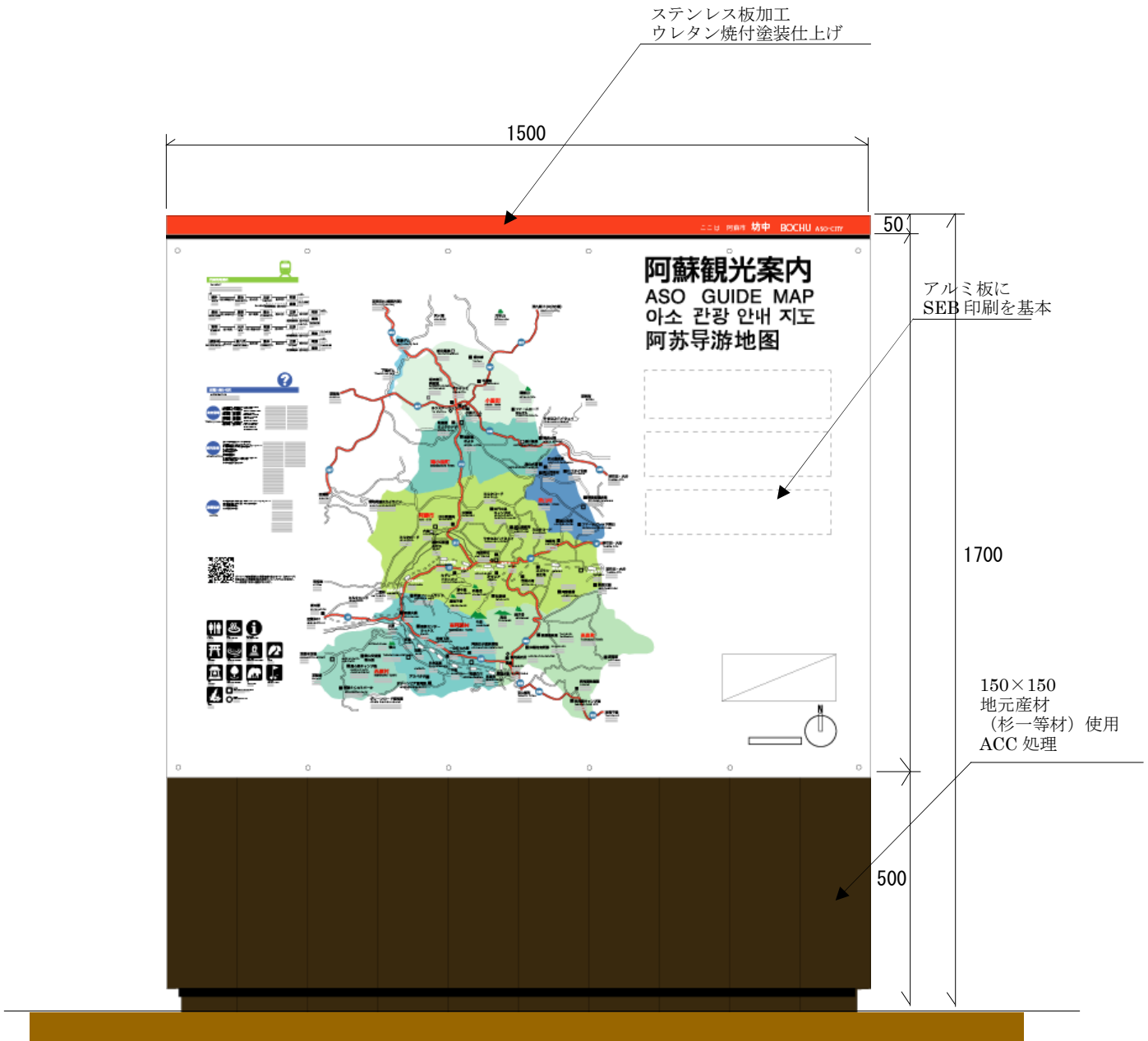


2. 本体設計

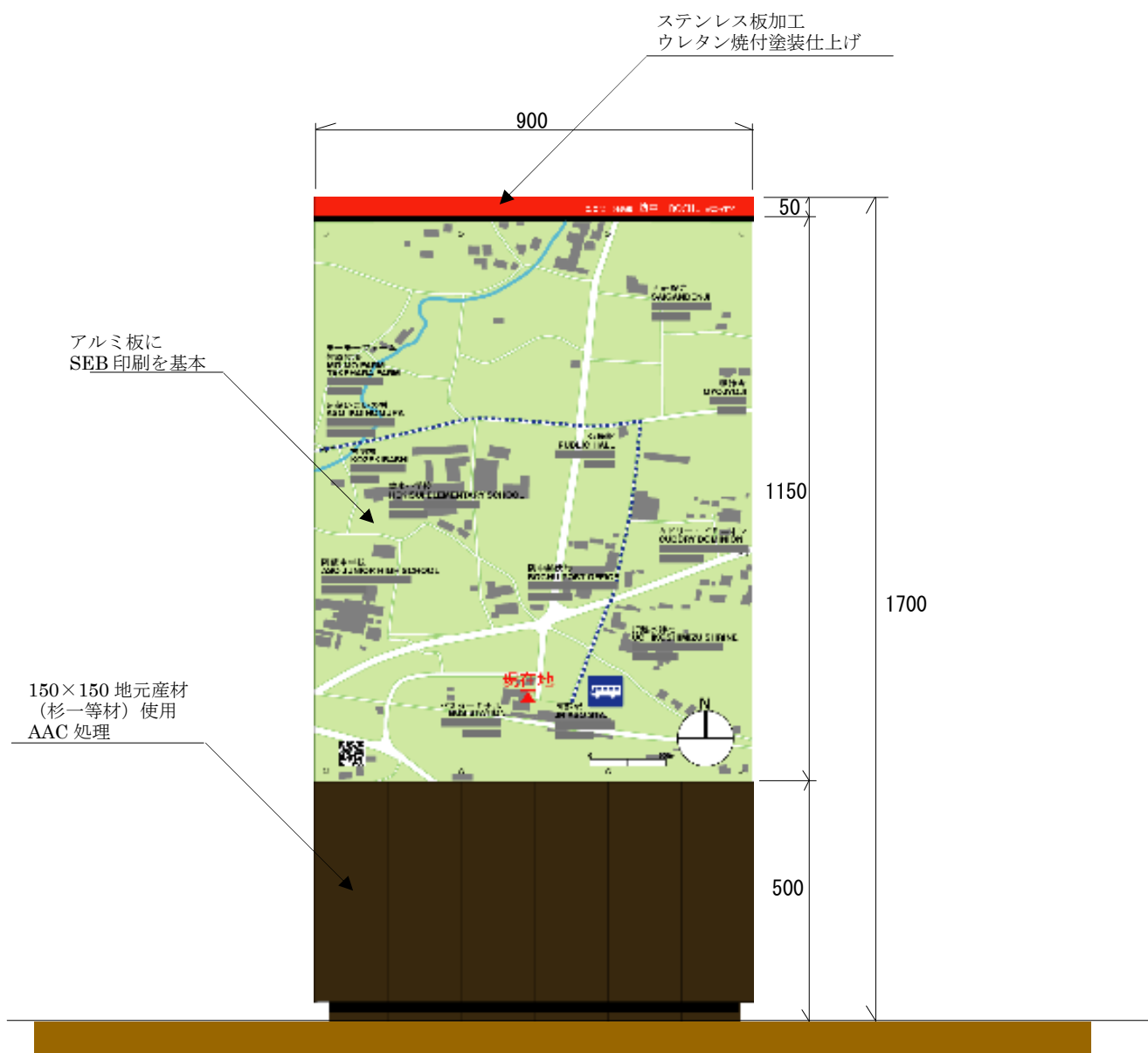
(1) 本体仕様・寸法・レイアウト

歩行者系サインそれぞれの本体仕様、寸法、レイアウトについて以下に示す。

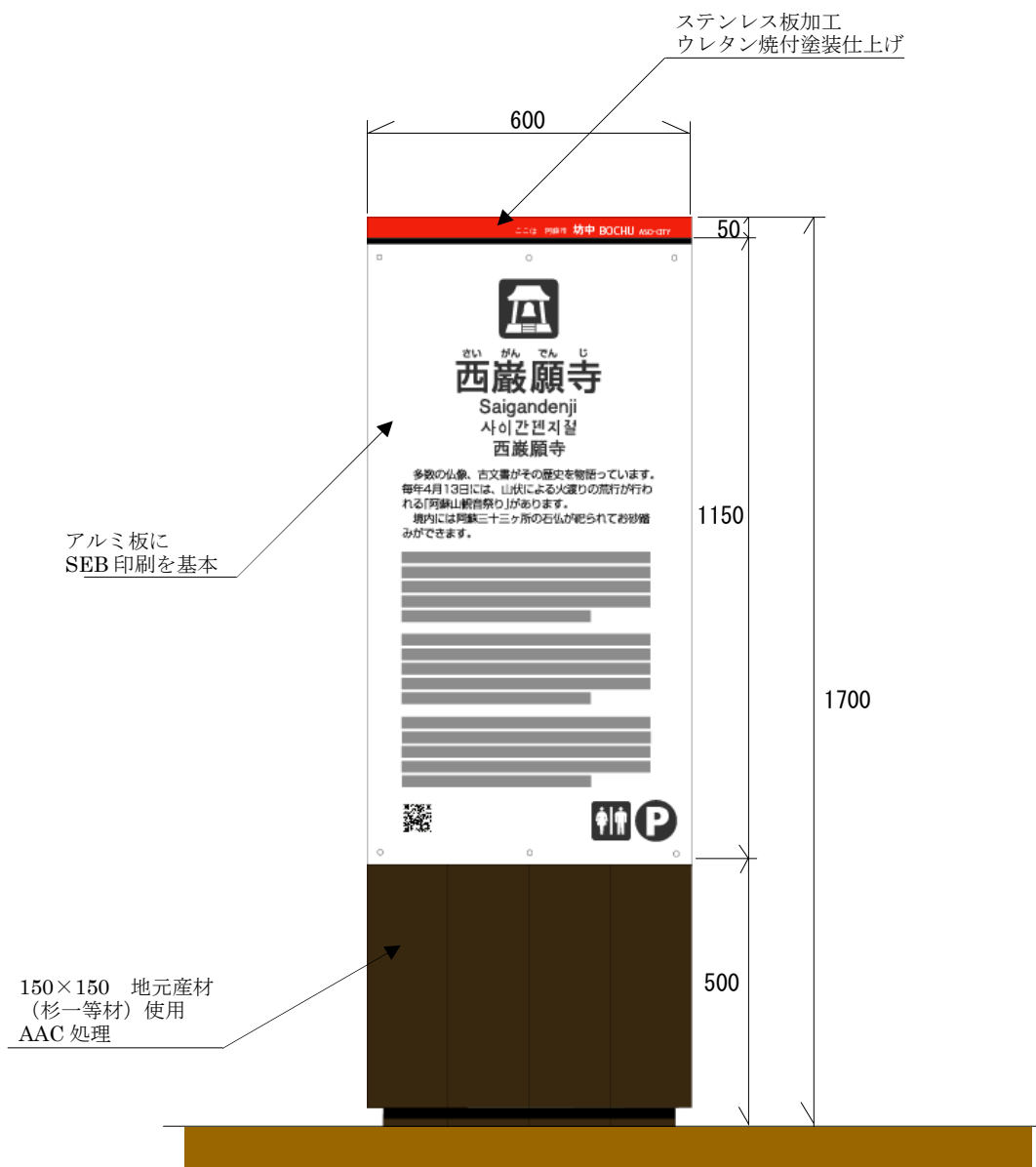
■総合案内サインの仕様・寸法・レイアウト



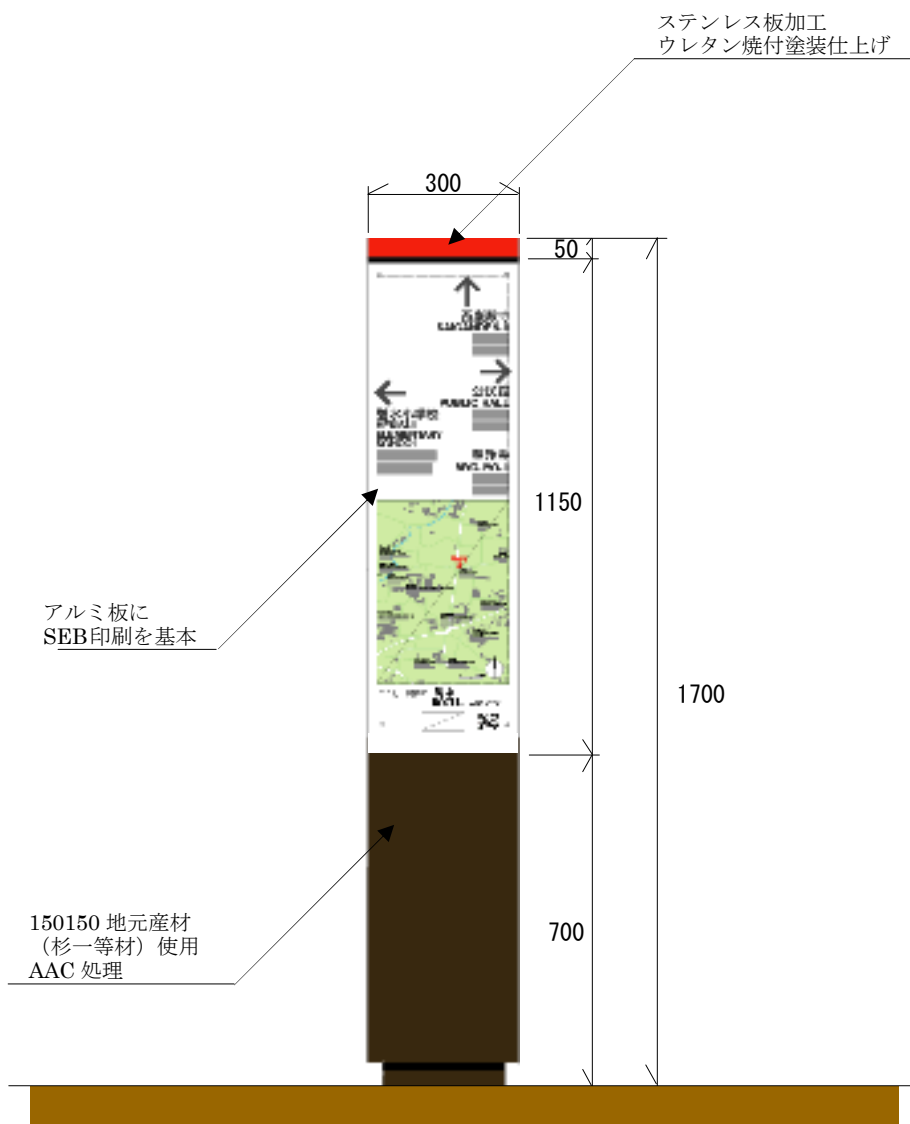
■案内サインの仕様・寸法・レイアウト



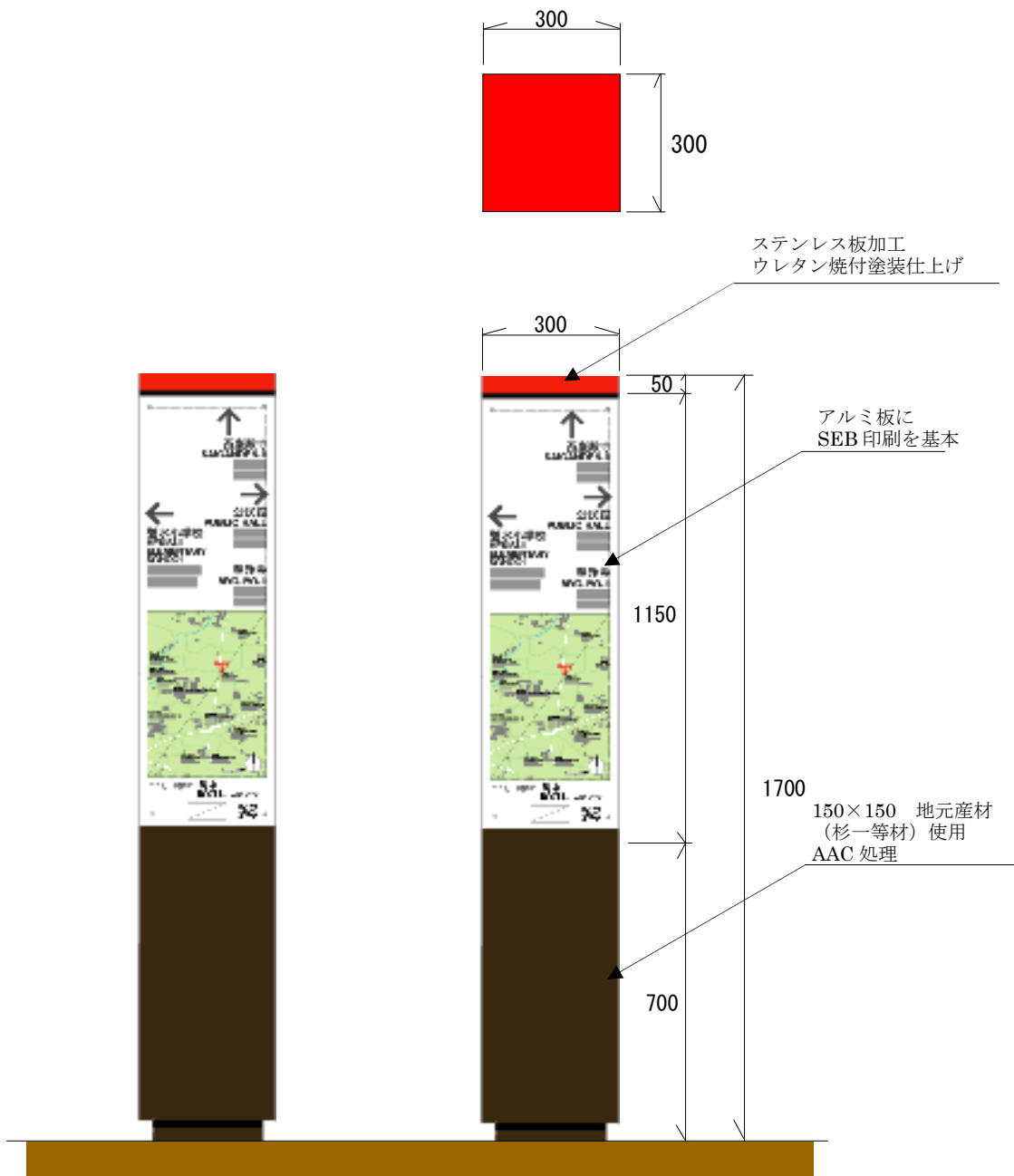
■ 定点・説明サインの仕様・寸法・レイアウト



■誘導サイン（小）の仕様・寸法・レイアウト



■誘導サイン（大）の仕様・寸法・レイアウト



(2) 表示板印刷の仕様

表示板は、耐久性の優れた SEB 印刷を基本とするが、書き換えが容易なインクジェット印刷も状況に応じて使用してもかまわない。

■SEB 印刷とインクジェット印刷の比較

	SEB 印刷	インクジェット印刷
主な素材	・アルミ板	・塩ビシートなど様々な素材に圧着
印刷原理・表現方法	・油性顔料インクジェットプリンターで出力したものを表示板（アルミ板）に転写し、EB(電子線硬化樹脂)コーティングする。	・インクジェットプリンターで顔料液体インクを出力し、各種のラミネートフィルムで保護する。
出力解像度	・720dpi の高画質	・350～1200 dpi
表現色数	・1670 万色以上の高画質のフルカラー表現が可能 ・写真もきわめてリアルに表現できる ・コーティングの際に熱を加えていないため、変色や素材の劣化がない。	・1670 万色以上の高画質のフルカラー表現が可能。
メンテナンス	・いたずらなどにも耐えられるため、10 年程度はメンテナンスがいらぬことが多い。	・3 年以内にメンテナンスが必要。
耐候性	・10 年	・3 年程度。
難燃性	・SEB 樹脂コーティングをしているため難燃性がある。	・表面のラミネート材は主に塩ビのため、炎に弱い。
耐薬品	・SEB 樹脂コーティングをしているため耐薬品性にすぐれている。	・表面のラミネート材は主に塩ビのため、薬品に弱い。
表面硬度	・優れている。	・表面のラミネート材は主に塩ビのため、キズに弱い。
まとめ	・コストはやや高めではあるが耐候性・耐薬品性などの耐久性能を十分そなえているため、コストパフォーマンスはきわめて高い。	・コストが安価で高画質のため、商業サインでは主流の表現方法である。

(3) 本体塗装の仕様

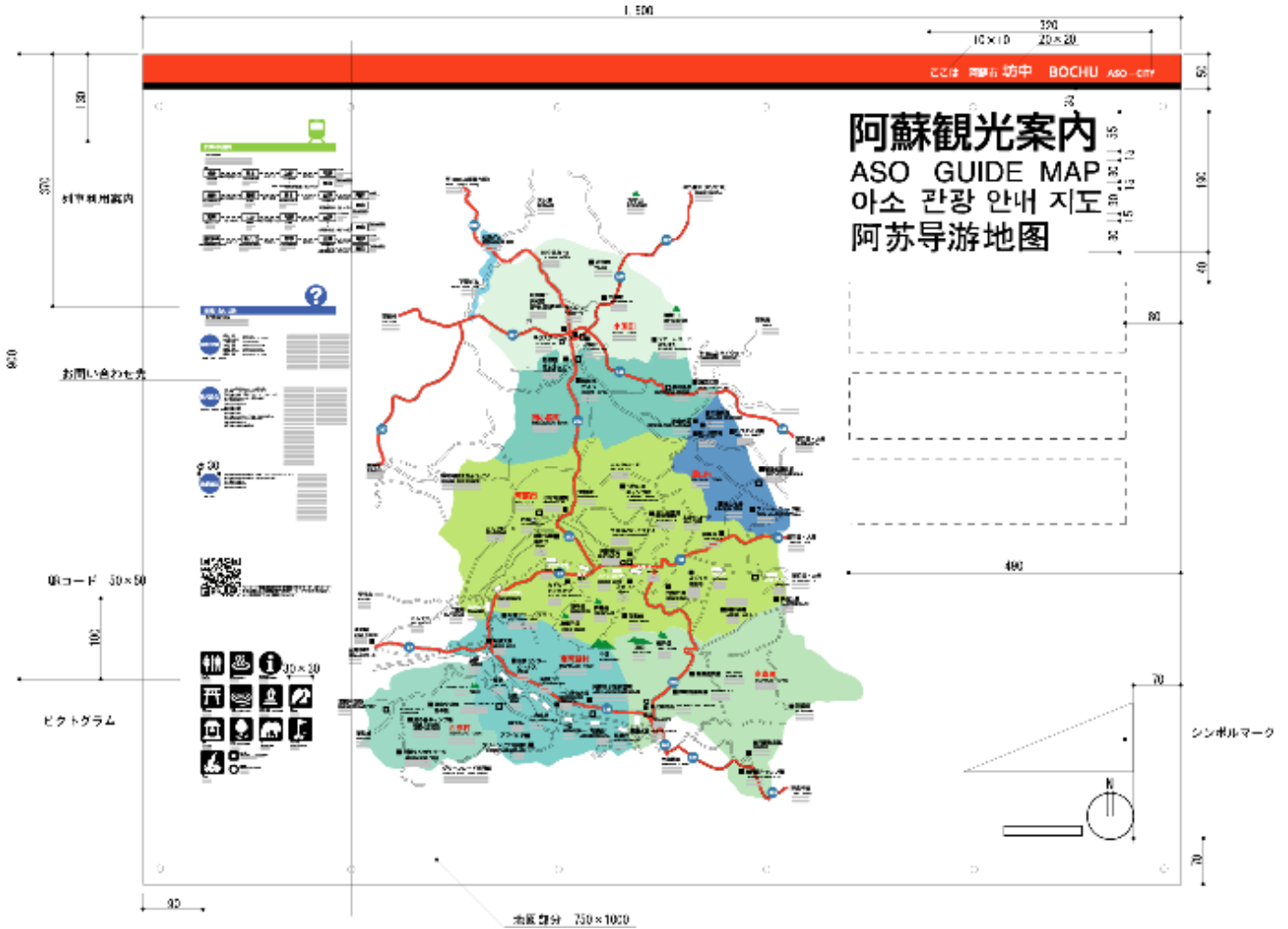
木材本体については AAC 塗装、ステンレスキャップについてはウレタン樹脂焼付け塗装とする。

(4) 表示仕様

①表示レイアウト

歩行者系サインそれぞれの表示レイアウトについて以下に示す。

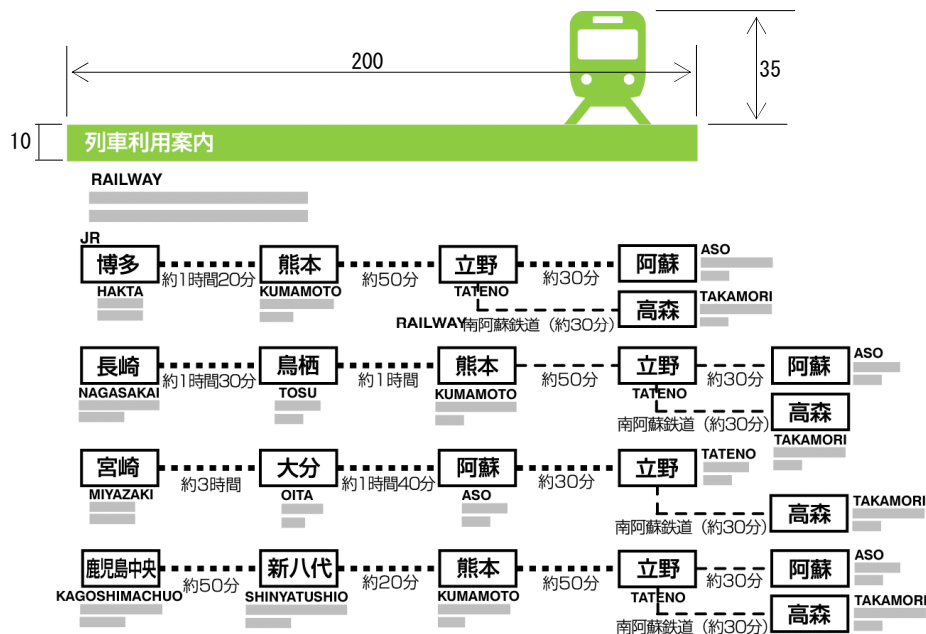
■総合案内サイン（広域案内）



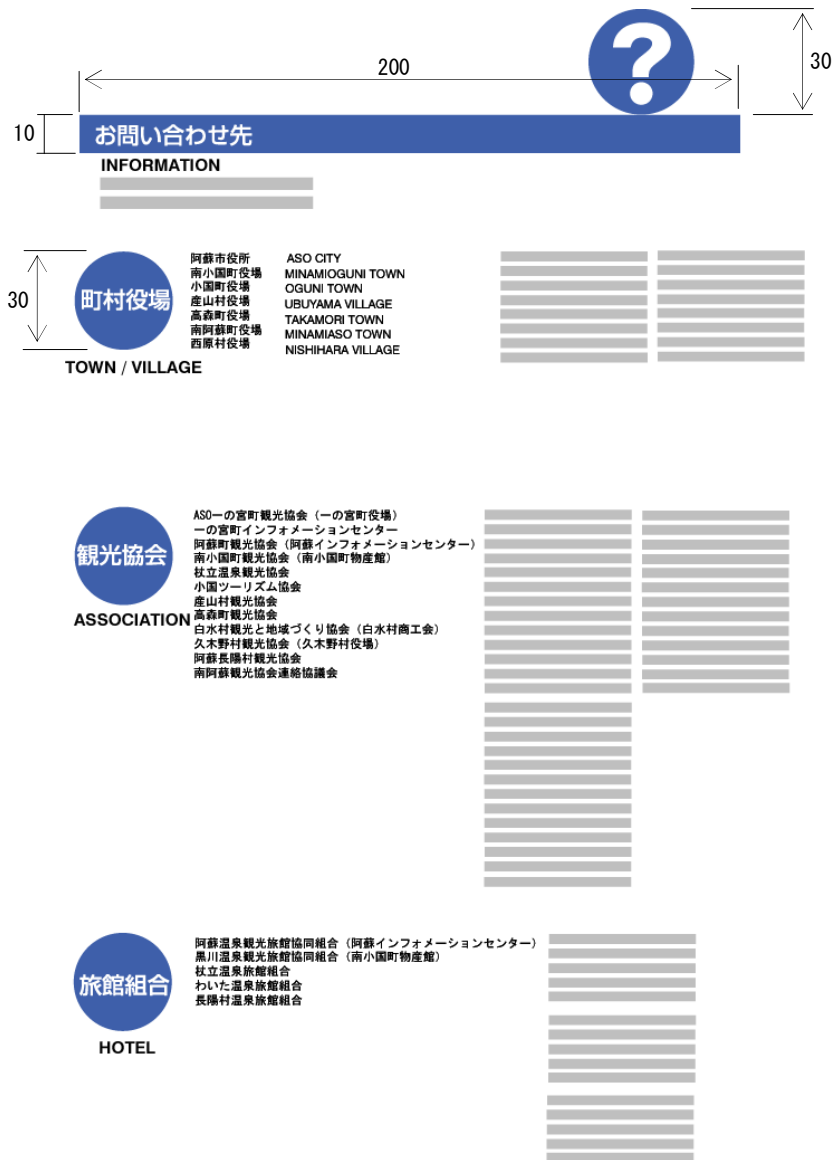
■総合案内サイン（市町村案内）



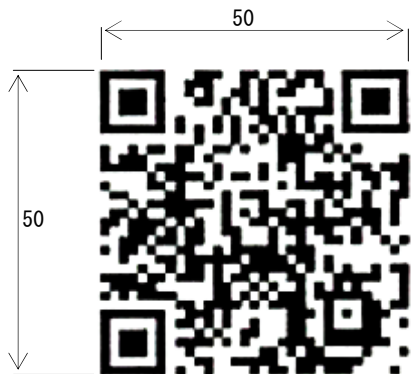
○列車案内レイアウト



○問合せ先レイアウト



QRコードレイアウト



バーコード読取機能付の携帯電話で左のマーク（QRコード）を読み取ると阿蘇観光案内携帯サイトへアクセスできます。
 ※一部使用できない機種があります。

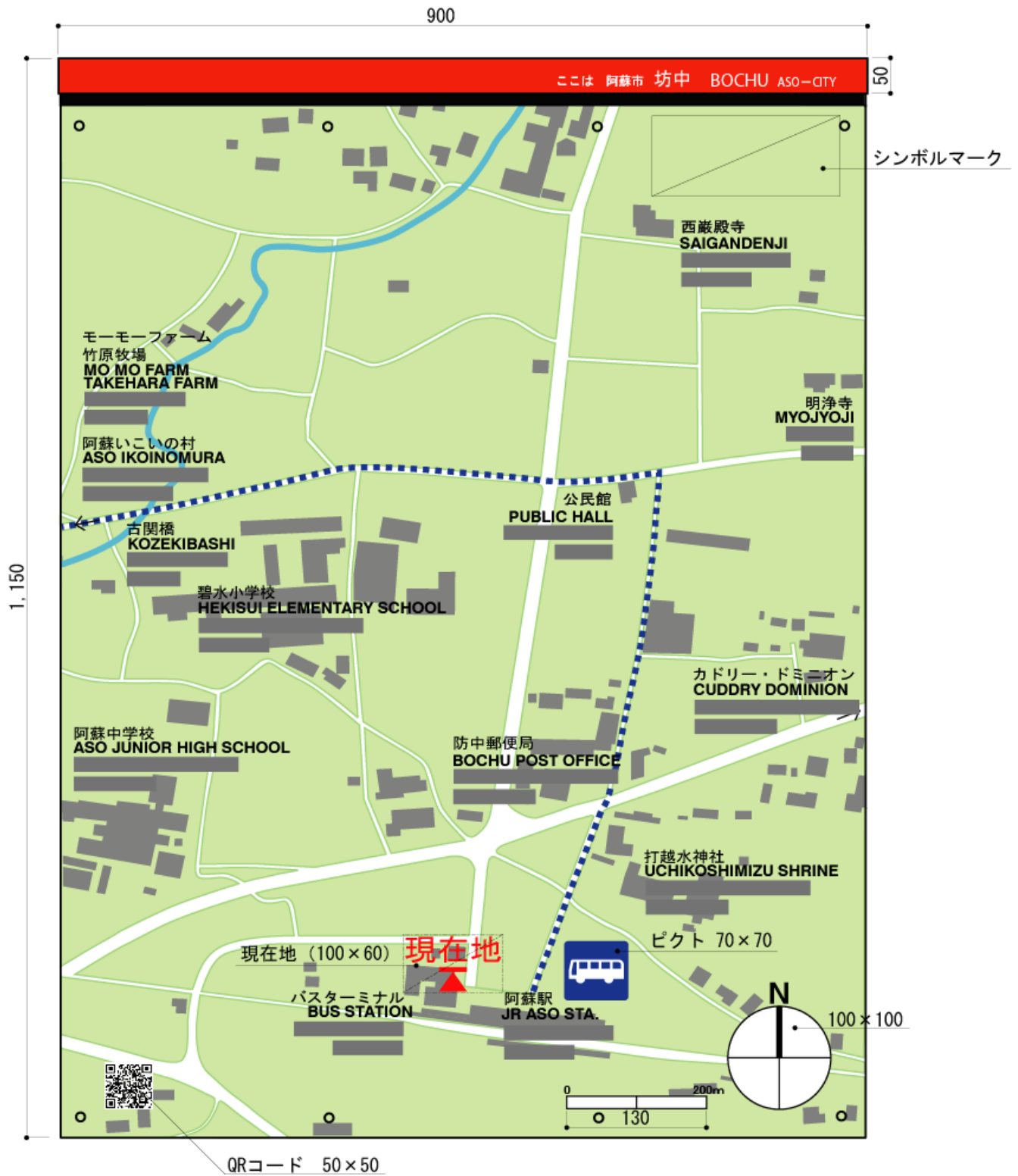
○ピクトレイアウト



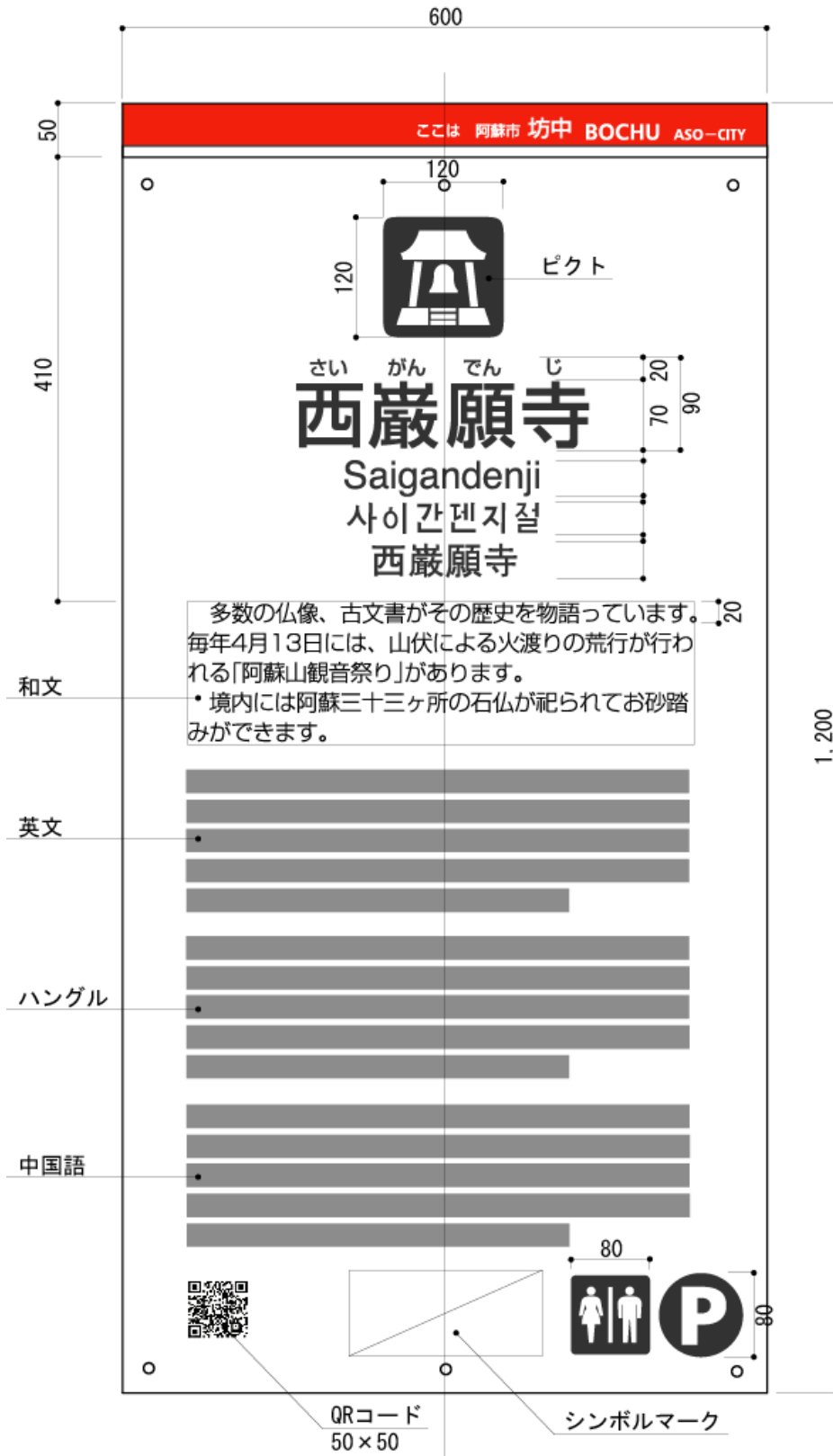
○地図レイアウト



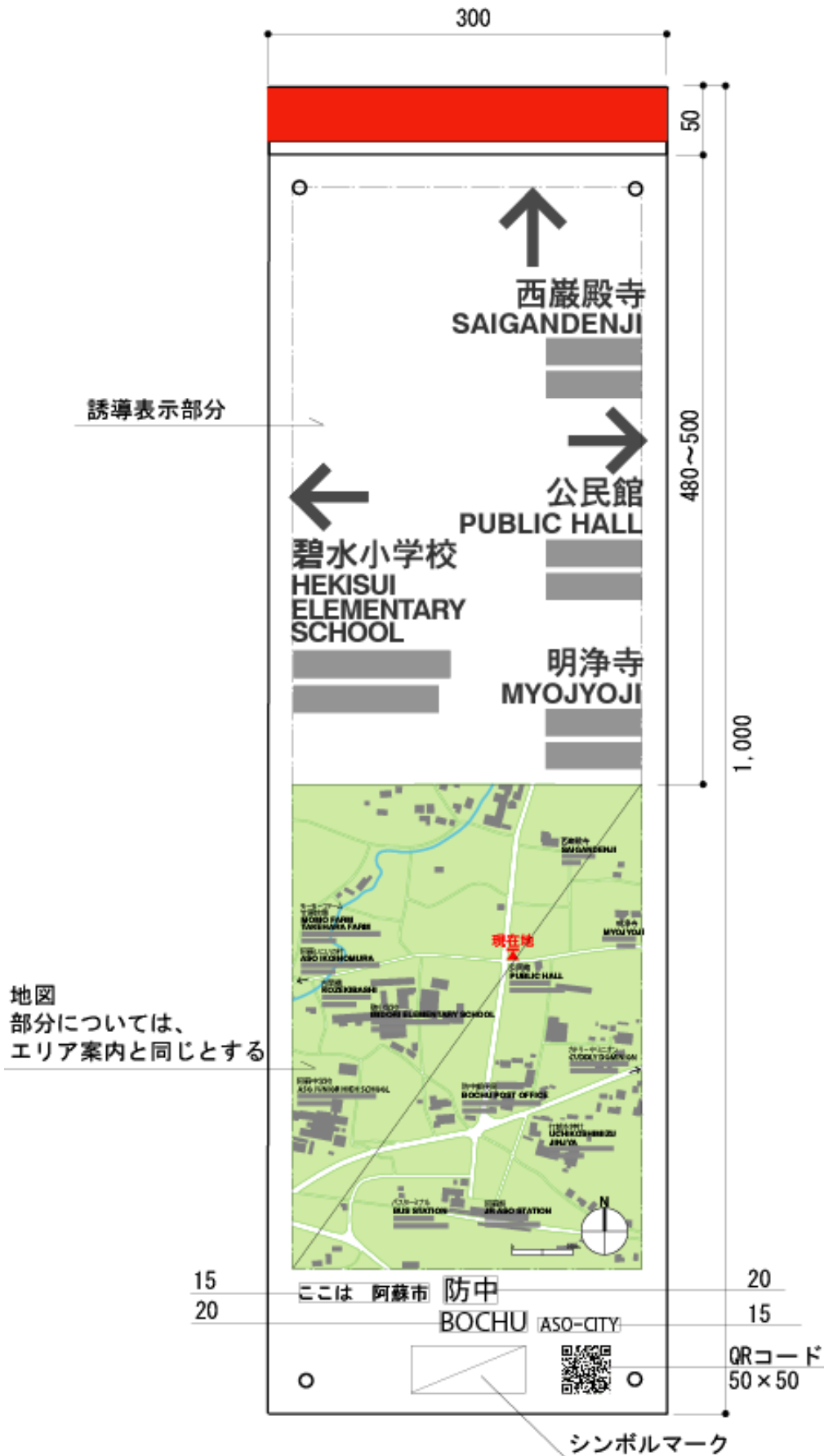
■案内サイン



■ 定点・説明サイン



■誘導サイン



②地図の範囲

■総合案内サイン

地図の作成に当っては、インターネットから地図情報を得て、ベースは 1 : 50000 の地図を作成する。



■案内サイン・誘導サイン

地図の作成にあたっては、市販の地図をベースとして使用し、案内サインにおいては、視認性から 1 : 150 以上が望ましいが、表示範囲が広いときはその限りではない。その場合は、さらに簡略して見やすくすること。

また、誘導サインには、それと同じものを縮小して使用する。なお、参考としてガイドラインにおいては案内サインが 1 : 150 に対して誘導サインは 1 : 400 である。



③文字の種類とサイズ



	項目	細目	書体	ポイント数		
□ 総合案内サイン	サイン名称	和文	ゴナU	157		
		英文	ヘルベチカM	85		
		ハングル	ゴナU同種	85		
		中国語	〃	85		
	インデックス	和文	ゴナU	28以上		
		英文	ヘルベチカU	〃		
		ハングル	ゴナU同種	〃		
		中国語	〃	〃		
	地図	市町村名	和文	ゴナU	28	
			英文	ヘルベチカM	14	
			ハングル	ゴナU同種	14	
			中国語	〃	14	
		地名	和文	ゴナU	20	
			英文	ヘルベチカM	10	
			ハングル	ゴナU同種	10	
			中国語	〃	10	
		道路号名称	数字	ヘルベチカM	14	
		列車時刻案内	タイトル	和文	ゴナU	17
				英文	ヘルベチカM	9
				ハングル	ゴナU同種	9
	中国語			〃	9	
	駅名その他		和文	ゴナU	8	
			英文	ヘルベチカM	6	
			ハングル	ゴナU同種	6	
			中国語	〃	6	
	お問い合わせ先	タイトル	和文	ゴナU	17	
			英文	ヘルベチカM	9	
			ハングル	ゴナU同種	9	
			中国語	〃	9	
		丸形の名称	和文	ゴナU	17	
			英文	ヘルベチカM	9	
			ハングル	ゴナU同種	9	
			中国語	〃	9	
	サインに使用されるピクトの図例	名称	和文	ゴナU	9	
			英文	ヘルベチカM	9	
			ハングル	ゴナU同種	9	
			中国語	〃	9	
	場所名	名称	和文	ゴナU	48	
			英文	ヘルベチカM	48	















□案内サイン	地名	和文	ゴナU	42
		英文	ヘルベチカM	24
		ハングル	ゴナU同種	24
		中国語	〃	24
	現在地	和文	ゴナU	85
	場所名	和文	ゴナU	48
英文		ヘルベチカM	48	
□定点説明サイン	施設名	和文	ゴナU	171
		和文(ふりがな)	ゴナU	34
		英文	ヘルベチカM	85
		ハングル	ゴナU同種	85
		中国語	〃	85
	説明文	和文	ゴナL	57
		英文	ゴナL同種	57
		ハングル	ゴナU同種	57
		中国語	〃	57
	□誘導サイン	施設名	和文	ゴナU
英文			ヘルベチカM	70
ハングル			ゴナU同種	70
中国語			〃	70
場所名		和文	ゴナU	42
		英文	ゴナU同種	42
(地図については案内サインに準ずる)				

④地図の色の表示

地図等に使用する色は、以下のように設定するが、製作時のプリンターによって多少の発色の違いがあるので、出力時に各色に近づくように調整することとする。

総合案内サイン

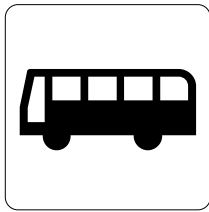
名称	細目	色データCMYK	色のサンプル
キャップ	本体	1.18 75.69 81.18 0.0	
地図			
	道路の線	0.0 0.0 0.0 100.0	
	文字（和英韓中）	0.0 0.0 0.0 100.0	
	山	96.86 0.78 96.86 0.0	
	川・ダム・池	49.02 0.78 0.0 0.0	
	道路号名の円形	75.69 21.96 0.0 14.0	
	小国町	13.0 0.0 10.0 0.0	
	南小国町	50.98 0.0 19.61 0.0	
	産山村	64.31 22.75 0.0 0.0	
	阿蘇市	25.0 0.0 55.69 0.0	
	高森町	27.0 0.0 23.53 0.0	
	南阿蘇村	50.98 0.0 13.0 0.0	
	西原村	38.43 0.0 17.25 0.0	
	市町村文字	1.96 93.33 91.37 0.0	
列車時刻案内	名称帯・列車のピクト	45.0 0.0 80.0 0.0	
	文字（和英韓中）	0.0 0.0 0.0 100.0	
お問い合わせ先	名称帯・ピクト	78.43 47.84 0.0 0.0	
	文字（和英韓中）	0.0 0.0 0.0 100.0	
ピクト	名称帯・ピクト	0.0 0.0 0.0 100.0	
	文字（和英韓中）	0.0 0.0 0.0 100.0	
サイン名称	文字（和英韓中）	0.0 0.0 0.0 100.0	
シンボルマーク	ライン・文字	92.55 0.0 100 0.0	
方位・距離表示	ライン・文字	0.0 0.0 0.0 100.0	
インデックス	文字（和英韓中）	0.0 0.0 0.0 100.0	

名称	細目	色データCMYK	色のサンプル
案内サイン			
	キャップ	3.92 88.24 90.98 0.39	
	文字（和英韓中）	0.0 0.0 0.0 100	
	地図ベース	18.82 1.57 34.9 0.0	
	道路ライン	38.04 1.18 52.94 0.0	
	建築	42.75 31.37 28.63 12.94	
	川	65.49 3.53 3.53 0.0	
	現在地	1.18 96.08 91.37 0.0	
	シンボルマーク	0.0 0.0 0.0 0.0	
	方位・距離表示	0.0 0.0 0.0 100	
	バスライン	94.9 69.8 5.1 0.39	
	バスピクト	94.9 69.8 5.1 0.39	
定点・説明サイン			
	キャップ	3.92 88.24 90.98 0.39	
	ピクト	0.0 0.0 0.0 80	
	文字（和英韓中）	0.0 0.0 0.0 80	
	シンボルマーク	0.0 0.0 0.0 80	
誘導サイン			
	キャップ	3.92 88.24 90.98 0.39	
	文字（和英韓中）	0.0 0.0 0.0 80	
	地図ベース	18.82 1.57 34.9 0.0	
	道路ライン	38.04 1.18 52.94 0.0	
	建築	42.75 31.37 28.63 12.94	
	川	65.49 3.53 3.53 0.0	
	現在地	1.18 96.08 91.37 0.0	
	シンボルマーク	0.0 0.0 0.0 80	
	方位・距離表示	0.0 0.0 0.0 80	
	バスライン	94.9 69.8 5.1 0.39	
	バスピクト	94.9 69.8 5.1 0.39	

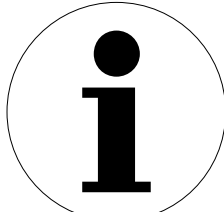
⑤ピクトグラム（絵文字）

ピクトグラムについては、外国人来訪者へ対応するためモビリティ財団で作成した統一ピクトグラムを基本に、阿蘇地域のオリジナルとして作成した2種類を適宜使い分けるものとする。

■モビリティ財団作成ピクト



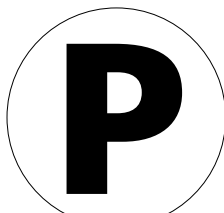
バス/バスのりば
Bus / Bus stop



情報コーナー
Information



お手洗
Toilets



駐車場
Parking



身障者用設備
Accessible facility

※

■オリジナルピクト



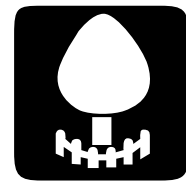
神社



滝



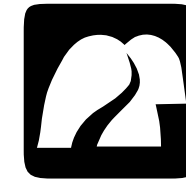
寺院



銘木



歴史・文化



峠



山

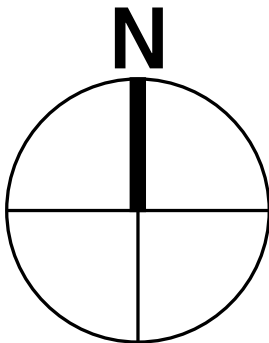


ゴルフ場

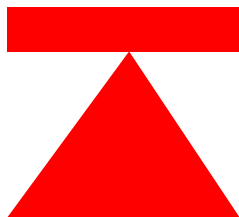
⑥オリエンテーション（方位）・スケール・現在位置表示

オリエンテーション（方位）、スケール、現在位置表示は、下記のものを使用する。

■オリエンテーション



■現在位置

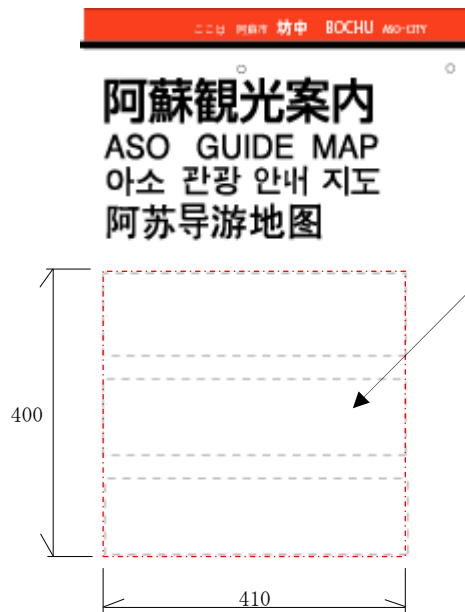


■スケール

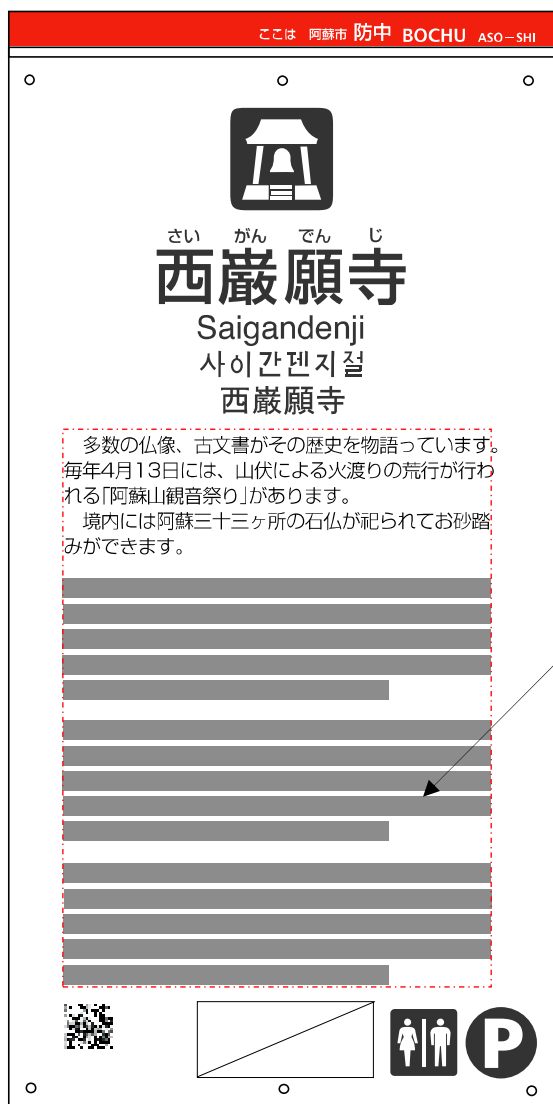


（寸法については、各サインタイプで指定）

⑦インデックス表示



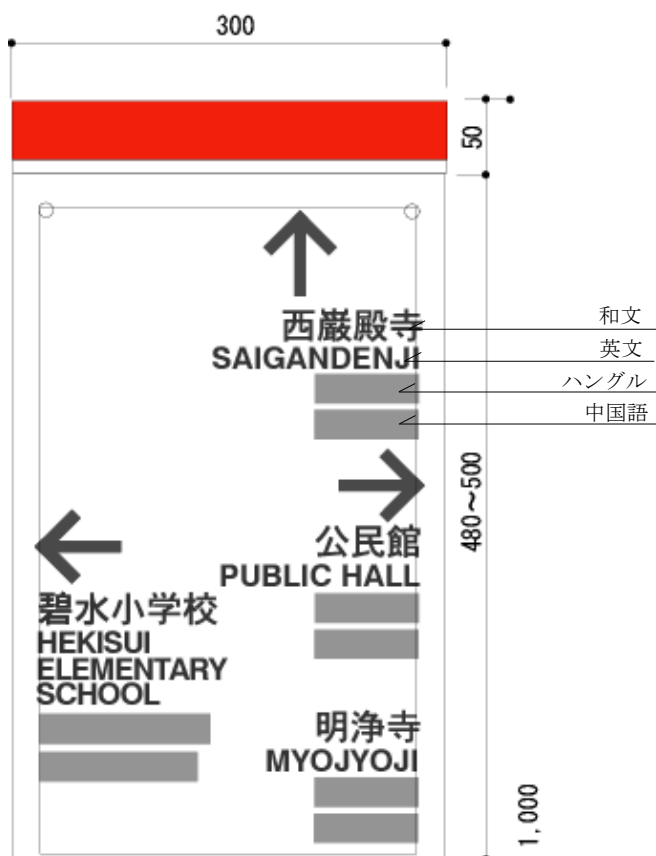
和文、英文、ハングル、中国語
書体は中ゴシック体
英文 ヘルベチカ
ハングル、中国語は、それに準
じた書体
フォントのサイズは、その内容
で決定すること。



和文、英文、ハングル、中国語
書体は中ゴシック体
英文 ヘルベチカ
ハングル、中国語は、それに準
じた書体
フォントのサイズは、その内容
で決定すること。

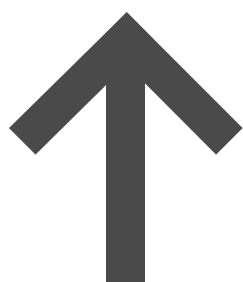
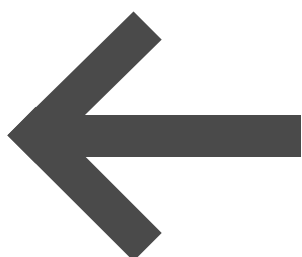
⑧誘導表示

誘導する施設で前方にあるものを最上部に右へ誘導するものを右にレイアウトし、左に誘導するものを左にレイアウトする。文字は右揃えと、左揃えとする。



⑨矢印

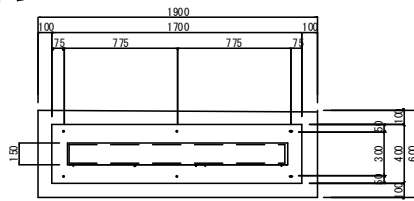
矢印は、下記のものを使用する。



(5) 本体標準図

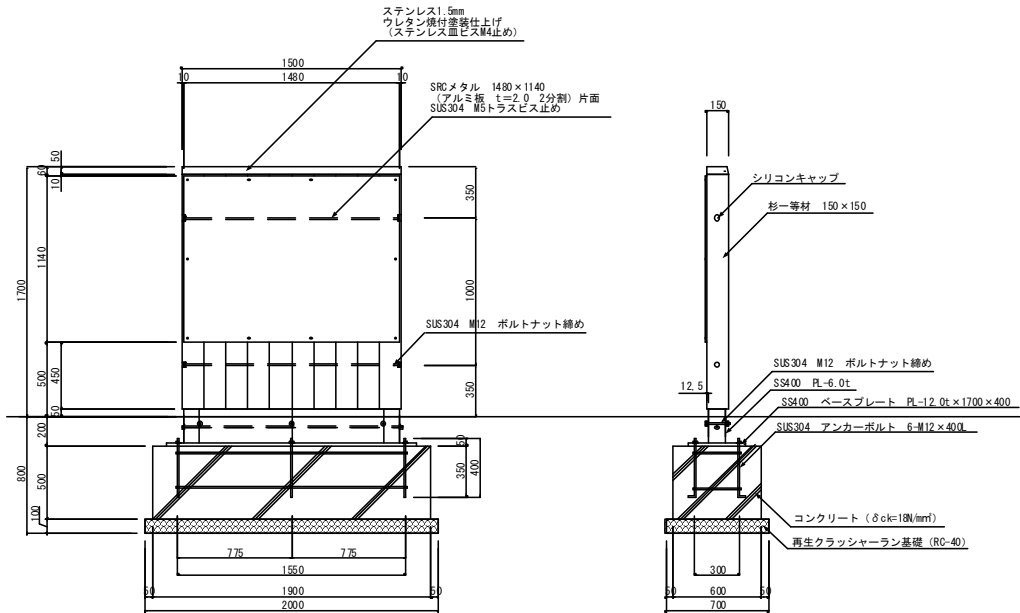
それぞれのサインの標準設計、数量計算書を以下に示す。

■総合案内サイン



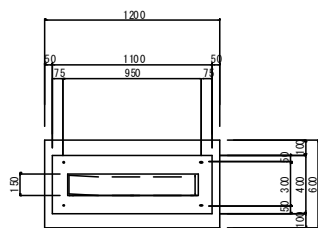
特記事項

- * 木材は熊本県、地元産材(杉一等材料)とし、無着色防腐処理の上ガードラック 塗布までとする。
- * 鋼材 (SS400材) は、溶融亜鉛メッキ処理の上見え掛かり部分はウレタン樹脂 塗装仕上げとする。
- * 表示内容・塗装色は、監督員と協議の上決定する。
- * この製品は(社)日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。
- * この製品はISO9001認証取得企業で製造された製品とする。

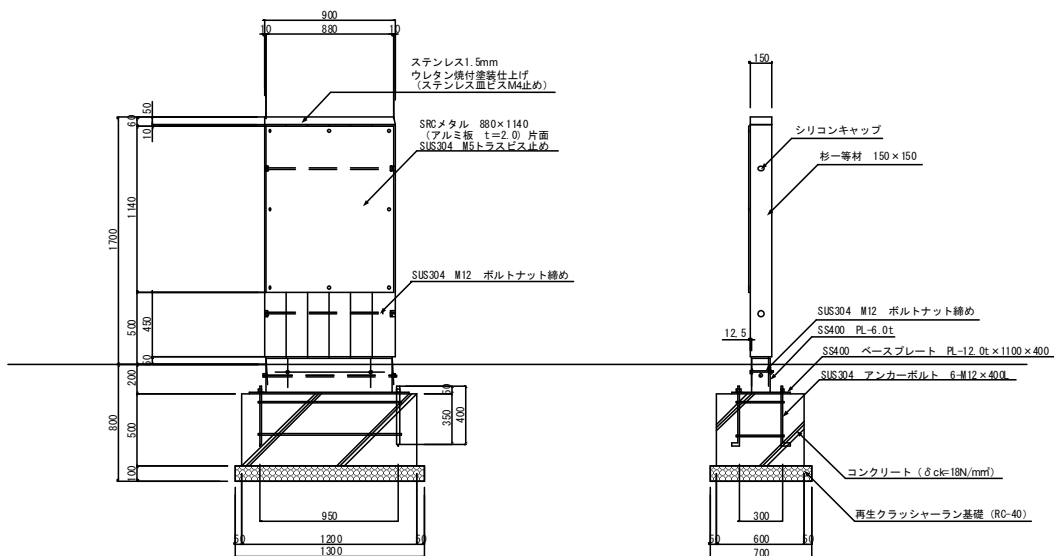


項目	規格寸法	単位	数量
アスファルトカッター	(2.8+1.4) *2*10	m	84.0
床掘	(2.0*0.6+2.8*1.4) *0.5*0.8*10	m ³	20.5
埋戻	20.5-5.5	m ³	15.0
残土処理	(2.0*0.6*0.1+1.9*0.4*0.5+1.5*0.15*0.2)*10	m ³	5.5
基面整正	2.0*0.6*10	m ²	12.0
再生クラッシャーランRC-40	2.0*0.6*10	m ²	12.0
型枠	(1.9*0.5+0.4*0.5) *2*10	m ²	23.0
コンクリート	δ ck18N/mm ² 1.9*0.4*0.5*10	m ³	3.80
本体 (ベースプレート・アンカーボルト含む)		基	10.0
アスファルト復旧	(2.8*1.4-1.5*0.15) *10	m ²	36.95
アスファルト撤去・処分		m ²	36.95

■案内サイン

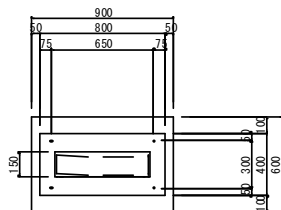


特記事項
 *木材は熊本県、地元産材(杉一等材)とし、無着色防腐処理の上ガードラック 塗布までとする。
 *鋼材(SS400材)は、溶融亜鉛メッキ処理の上見え掛かり部分はウレタン樹脂 塗装仕上げとする。
 *表示内容・塗装色は、監督員と協議の上決定する。
 *この製品は(社)日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。
 *この製品はISO9001認証取得企業で製造された製品とする。

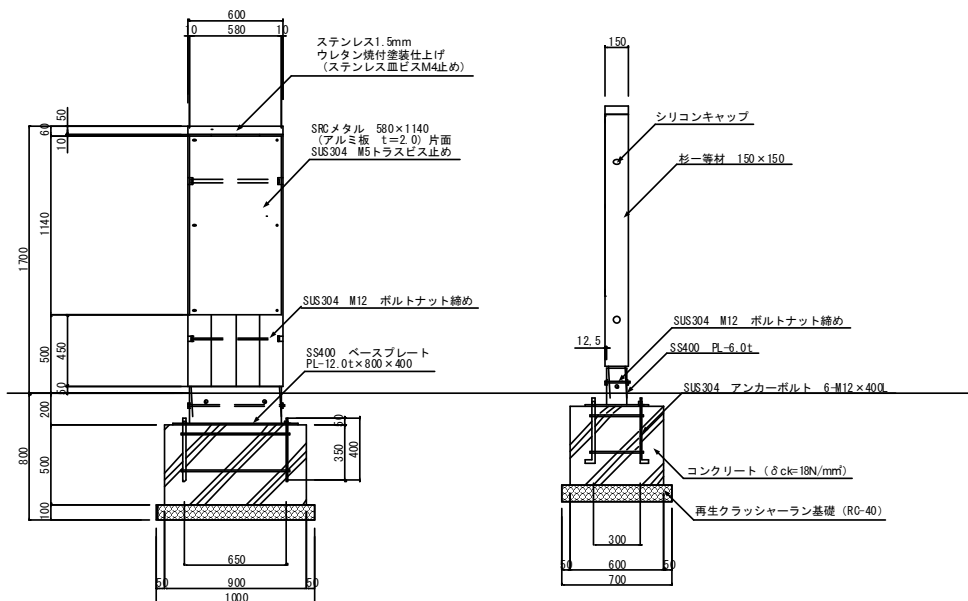


項目	規格寸法	単位	数量
アスファルトカッター	(2.1+1.4) *2*10	m	70.0
床掘	(1.3*0.6+2.1*1.4) *0.5*0.8*10	m ³	14.9
埋戻	14.9-3.5	m ³	11.4
残土処理	(1.3*0.6*0.1+1.2*0.4*0.5+0.9*0.15*0.2) *10	m ³	3.5
基面整正	1.3*0.6*10	m ²	7.8
再生クラッシャーランRC-40	1.3*0.6*10	m ²	7.8
型枠	(1.3*0.6+0.4*0.5) *2*10	m ²	19.6
コンクリート	δ ck18N/mm ² 1.2*0.4*0.5*10	m ³	2.40
本体 (ベースプレート・アンカーボルト含む)		基	10.0
アスファルト復旧	(2.1*1.4-0.9*0.15) *10	m ²	24.65
アスファルト撤去・処分		m ²	24.65

■ 定点・説明サイン

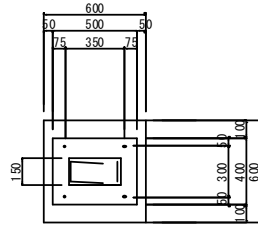


特記事項
 * 木材は熊本県、地元産材（杉一等材）とし、無着色防腐処理の上ガードラック 塗布までとする。
 * 鋼材（SS400材）は、溶融亜鉛メッキ処理の上見え掛り部分はウレタン樹脂 塗装仕上げとする。
 * 表示内容・塗装色は、監督員と協議の上決定する。
 * この製品は（社）日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。
 * この製品はISO9001認証取得企業で製造された製品とする。



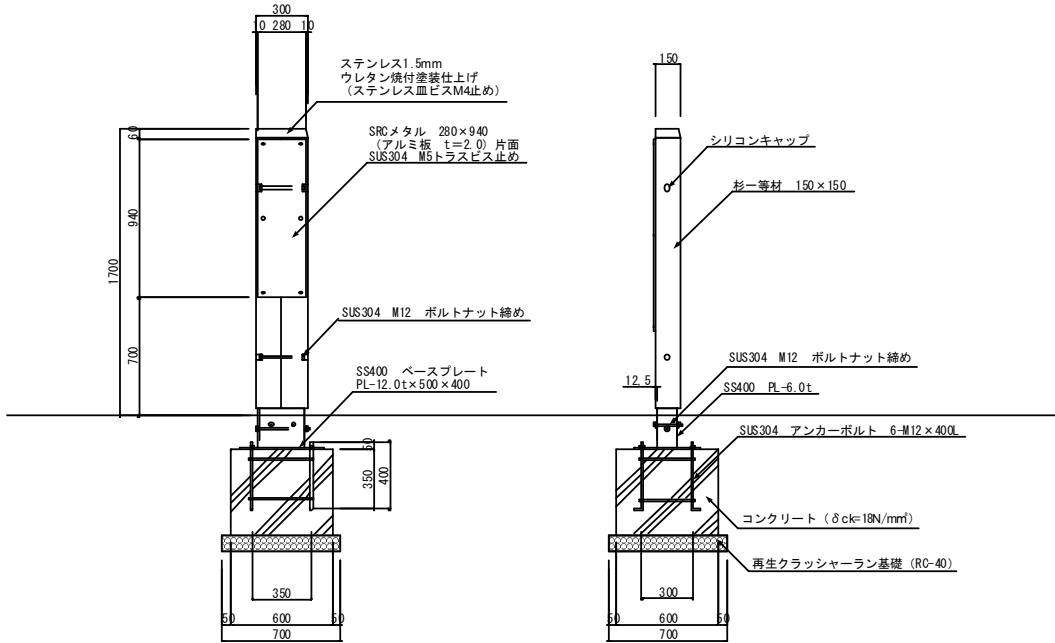
項目	規格寸法	単位	数量
アスファルトカッター	(1.8+1.4) *2*10	m	64.0
床掘	(1.0*0.6+1.8*1.4) *0.5*0.8*10	m ³	12.5
埋戻	12.5-2.6	m ³	9.9
残土処理	(1.0*0.6*0.1+0.9*0.4*0.5+0.6*0.15*0.2) *10	m ³	2.6
基面整正	1.0*0.6*10	m ²	6.0
再生クラッシャーランRC-40	1.0*0.6*10	m ²	6.0
型枠	(0.9*0.5+0.4*0.5) *2*10	m ²	13.0
コンクリート	δ ck18N/mm ² 0.9*0.4*0.5*10	m ³	1.80
本体（ベースプレート・アンカーボルト含む）		基	10.0
アスファルト復旧	(1.8*1.4-0.6*0.15) *10	m ²	24.30
アスファルト撤去・処分		m ²	24.30

■誘導サイン（小）



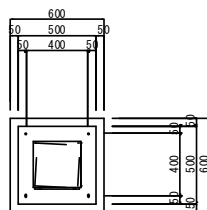
特記事項

- * 木材は熊本県、地元産材（杉一等材料）とし、無着色防腐処理の上ガードラック塗布までとする。
- * 鋼材（SS400材）は、溶融亜鉛メッキ処理の上見え掛かり部分はウレタン樹脂塗装仕上げとする。
- * 表示内容・塗装色は、監督員と協議の上決定する。
- * この製品は（社）日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。
- * この製品はISO9001認証取得企業で製造された製品とする。



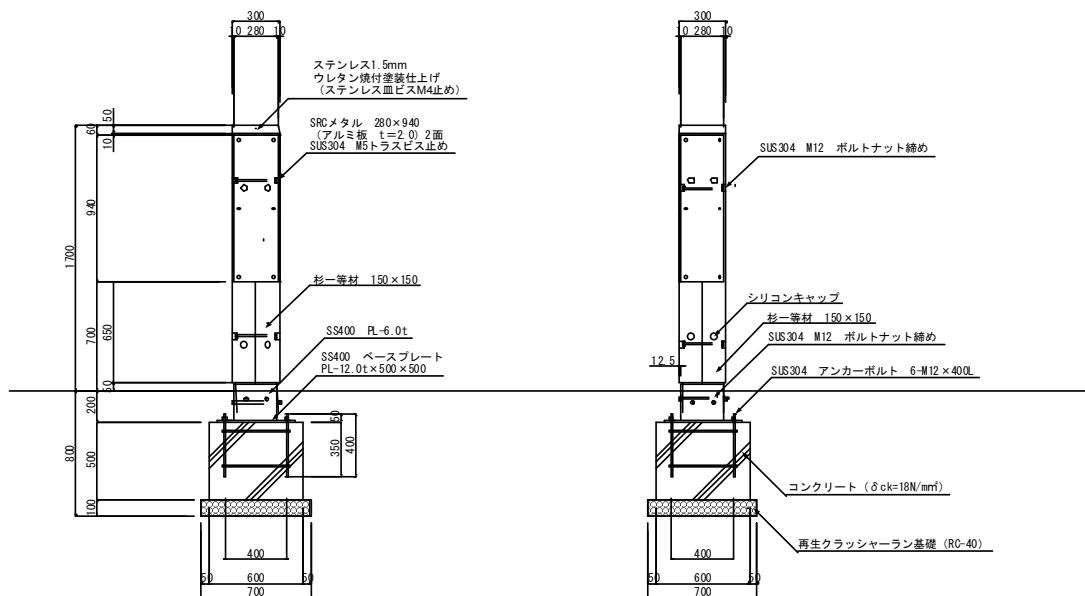
項目	規格寸法	単位	数量
アスファルトカッター	(1.5+1.4) *2*10	m	58.0
床掘	(0.7*0.6+1.5*1.4) *0.5*0.8*10	m³	10.4
埋戻	10.4-2.1	m³	8.3
残土処理	(0.7*0.6*0.1+0.6*0.5*0.5+0.3*0.3*0.2)*10	m³	2.1
基面整正	0.7*0.6*10	m²	4.2
再生クラッシャーランRC-40	0.7*0.6*10	m²	4.2
型枠	(0.6*0.5+0.5*0.5) *2*10	m²	11.0
コンクリート	δ ck18N/mm² 0.6*0.5*0.5*10	m³	1.50
本体（ベースプレート・アンカーボルト含む）		基	10.0
アスファルト復旧	(1.5*1.4-0.3*0.15) *10	m²	20.6
アスファルト撤去・処分		m²	20.6

■誘導サイン（大）



特記事項

- * 木材は熊本県、地元産材（杉一等材）とし、無着色防腐処理の上ガードラック 塗布までとする。
- * 鋼材（SS400材）は、溶融亜鉛メッキ処理の上見え掛り部分はウレタン樹脂 塗装仕上げとする。
- * 表示内容・塗装色は、監督員と協議の上決定する。
- * この製品は（社）日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。
- * この製品はISO9001認証取得企業で製造された製品とする。



項目	規格寸法	単位	数量
アスファルトカッター	(1.5+1.4) *2*10	m	58.0
床掘	(0.7*0.6+1.5*1.4) *0.5*0.8*10	m ³	10.4
埋戻	10.4-2.1	m ³	8.3
残土処理	(0.7*0.6*0.1+0.6*0.5*0.5+0.3*0.3*0.2)*10	m ³	2.1
基面整正	0.7*0.6*10	m ²	4.2
再生クラッシャーランRC-40	0.7*0.6*10	m ²	4.2
型枠	(0.6*0.5+0.5*0.5) *2*10	m ²	11.0
コンクリート	δ ck18N/mm ² 0.6*0.5*0.5*10	m ³	1.50
本体（ベースプレート・アンカーボルト含む）		基	10.0
アスファルト復旧	(1.5*1.4-0.3*0.15) *10	m ²	20.6
アスファルト撤去・処分		m ²	20.6

Ⅲ. 多言語化

サインは、その地区や施設等を伝える定点・説明サインや、施設や場所へ人を誘導する誘導サインがあり、“現場に設置するため、その時々で必要な情報をその場で入手できる”特性がある。外国人訪問者が急増する中、サイン等の多言語化が望まれる。

サインを多言語化する場合、「サインの設置スペースの制限により、文字が小さくなる」「表示面が煩雑になる」などの不都合が生じることも考えられるため、設置箇所におけるサインの役割や情報の特性、重要度、対象者の言語に応じて対応することが必要である。

◆ 自動車系誘導サインは、2ヶ国語（日本語+英語）併記とする。

自動車系誘導サインは、自動車を運転しながら安全に視認できる表示面でなければならないため、最小限の内容を適切に表記する必要がある。

◆ 歩行者系案内サインは、原則として4ヶ国語（日本語+英語+韓国語+中国語）併記とする。

歩行者系案内サインは、歩行者が立ち止まって情報を確認するため、できる限り多くの言語を併記することが望ましいが、文字が小さくなく表示面が煩雑にならないように注意をする。

1. 多言語化における基本的な配慮

（1）多言語化での配慮

①言語の選択

1) 主な言語 一英語・韓国語・中国語とする。

- ・基本的にはすべての情報をなるべく多くの言語で提供することを目指す。
- ・多言語化する主な言語は、外国人訪問者の状況を考慮して英語・韓国語・中国語とする。

○英語

- ・英語は外国人および日本人にとって一番理解しやすい外国語であり、互いの案内に最も利用しやすい言語であるため、多言語化する場合、英語は必ず使用する。

○その他の言語

- ・その他の言語は、設置場所や設置目的、情報提供の対象者等を考慮する。
- ・外国人訪問者の状況、漢字圏等を考慮し、多言語の優先順位は、日本語・英語に続いて韓国語→中国語とする。

②その他

- ・元号を用いるときは、西暦も併用する。

[例] 平成18年（2006年）

- ・外国人にとってわかりにくい制度や習慣などについては、説明をつける。

(2) 日本語での配慮

すべての情報をなるべく多くの言語で提供することが望ましいが、多言語化が困難な場合は最低限、次の配慮を行う。

①ルビふり

- ・漢字・カタカナにはひらがなでルビをふる。

[例] 阿蘇 → 阿蘇

- ・すべての漢字・カタカナにルビをふることが困難な場合は、初出の漢字・カタカナ等にルビをふる。

②わかりやすい文章表現

1) 簡潔に

- ・情報を詰め込みすぎるとわかりにくくなるため、伝えたいことを簡潔に書く。
- ・一文はできるだけ短くする。
- ・5W1Hをはっきりさせることがポイント。

2) 結論を先に

- ・結論を先に書き、続いて重要なことから順に述べる。

3) わかりやすい口語体で

- ・口語体で書く。

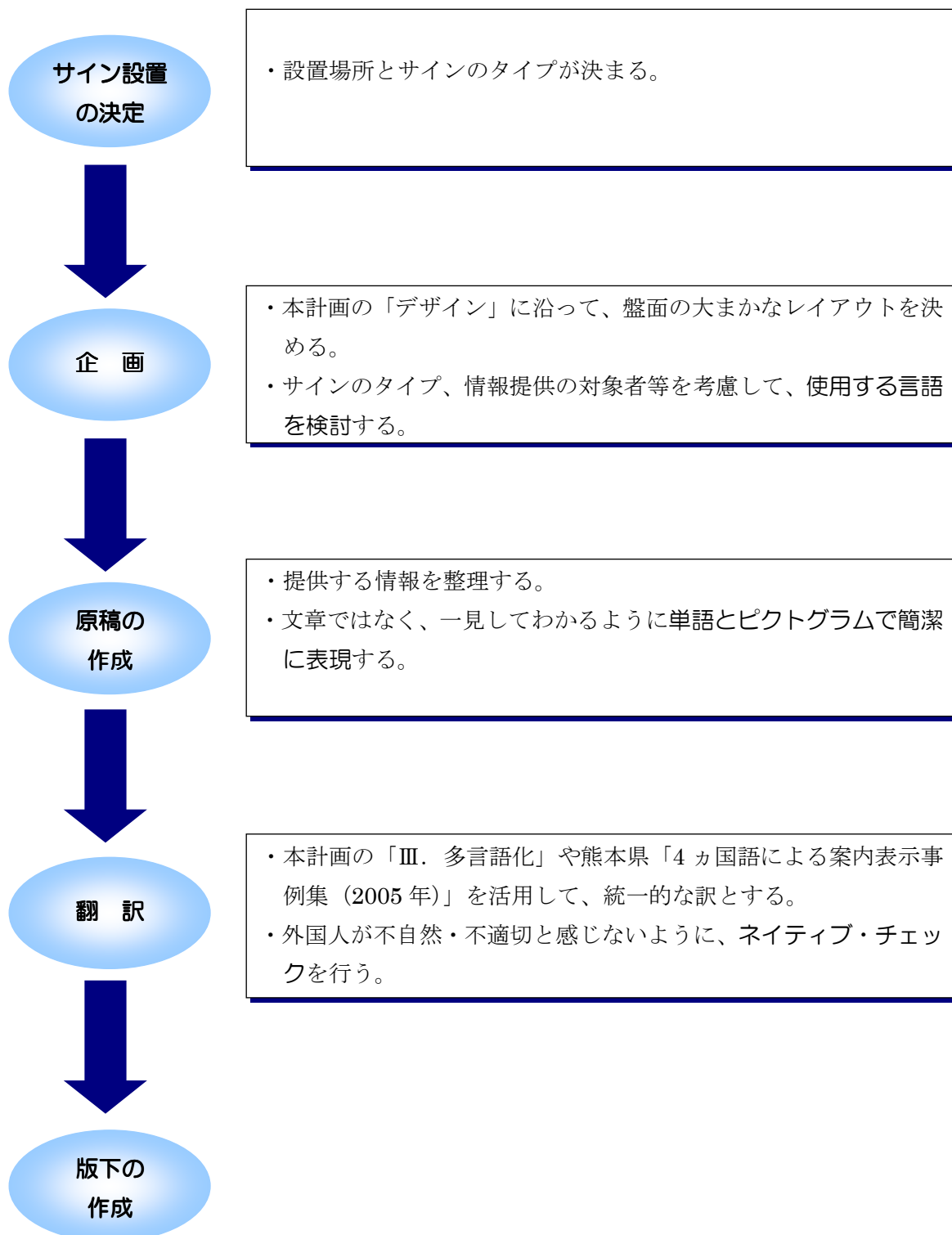
[例] ×当該 → ○その

- ・専門用語等は避ける。どうしても使用しなければならない場合は、説明をつける。

2. ガイドライン

サインを設置するにあたり、情報はできる限り多言語化する。多言語化が困難な場合は、少なくともルビふりなどの日本語での配慮をする。

(1) 製作までの手順

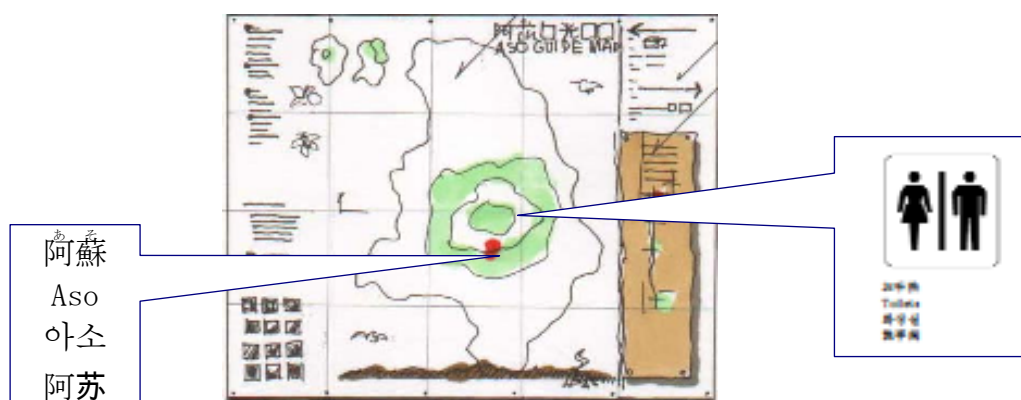


(2) 基本的な配慮事項

A. 必ず日本語と英語を併記する。

B. 空港や主要駅、交通結節点など、人がよく集まり行動のスタートとなる場所のサイン（総合案内サインなど）は、できるだけ4ヶ国語（日本語・英語・韓国語・中国語）併記とする。

C. 人がよく利用する施設（トイレ、エレベーターなど）は、外国人にも一見して理解されやすいピクトグラム（絵文字）を使用する。



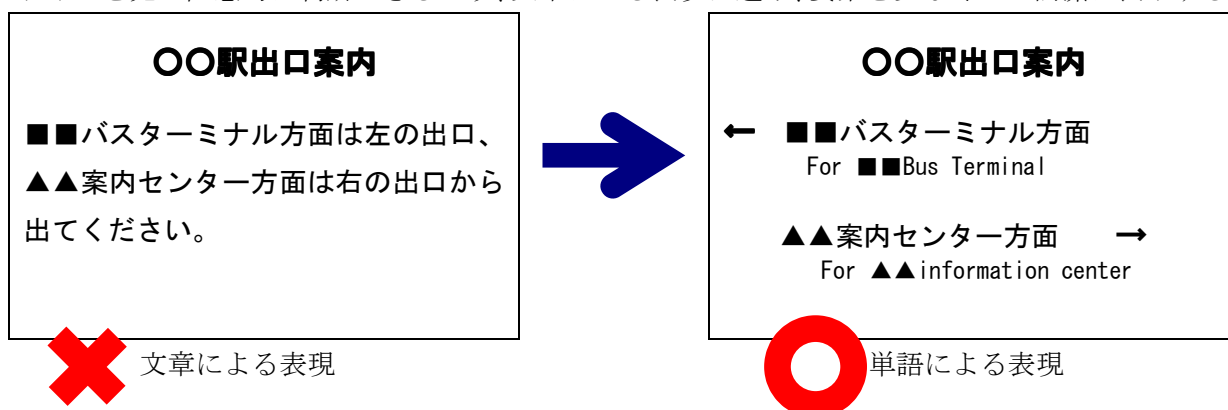
D. 固有名詞（施設名や駅名など）は、定まった韓国語訳や中国語訳が少ないことや、日本語読みを伝えることに意味のある場合が多いため、日本語と英語（ローマ字）の併記、さらにひらがなによるルビふりを行うことで、多くの人に日本語読みを伝えることとする。

くさせんり
草千里
Kusasenri

(3) レイアウト

①簡潔な表現にする

- ・サインを見て直感的に判断できるように、文章による表現は避け、要素を少なくして簡潔に表示する。



②文字サイズの調整

- ・サインに表示する外国語の文字は、日本語が読みづらくなならない程度でできる限り大きくすることが望ましい。
- ・外国人が多い場所では外国語の文字サイズを大きくするなど、設置箇所や設置目的等により適宜調整する。

[参考]国土交通省「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」(2001年8月)

文字の大きさの選択の目安

- ・遠くから視認する吊下型等の誘導サインや位置サインなどは 20m 以上、近くから視認する自立型や壁付型等の案内サインなどは 4~5m 以下、案内サインの見出しなどは 10m 程度に視距離を設定することが一般的である。
- ・下表は、前記の想定のもとに各々の視距離から判読できるように通常有効な文字の大きさを示している。
- ・遠距離視認用の大きな文字を壁付型などで視点の高さに掲出すれば、弱視者にとっては接近視できるので読みやすい。

視距離	和文文字高	英文文字高
30mの場合	120mm以上	90mm以上
20mの場合	80mm以上	60mm以上
10mの場合	40mm以上	30mm以上
4~5mの場合	20mm以上	15mm以上
1~2mの場合	9mm以上	7mm以上

- ・なお、文字高とは、日本語では指定書体の「木」の高さを、アルファベットでは指定書体の「E」の高さをいう。

3. 表記に当たっての留意点

(1) 英語

①ローマ字

日本語をローマ字で表記する場合には、原則としてヘボン式とする。

ヘボン式の表記															
あ	a	い	i	う	u	え	e	お	o						
か	ka	き	ki	く	ku	け	ke	こ	ko	きゃ	kya	きゅ	kyu	きょ	kyo
さ	sa	し	shi	す	su	せ	se	そ	so	しゃ	sha	しゅ	shu	しよ	sho
た	ta	ち	chi	つ	tsu	て	te	と	to	ちゃ	cha	ちゅ	chu	ちよ	cho
な	na	に	ni	ぬ	nu	ね	ne	の	no	にゃ	nya	にゅ	nyu	にょ	nyo
は	ha	ひ	hi	ふ	fu	へ	he	ほ	ho	ひゃ	hya	ひゅ	hyu	ひょ	hyo
ま	ma	み	mi	む	mu	め	me	も	mo	みゃ	mya	みゅ	myu	みょ	myo
や	ya		-	ゆ	yu		-	よ	yo						
ら	ra	り	ri	る	ru	れ	re	ろ	ro	りゃ	rya	りゅ	ryu	りょ	ryo
わ	wa		-		-		-	を	wo						
ん	n														
が	ga	ぎ	gi	ぐ	gu	げ	ge	ご	go	ぎゃ	gya	ぎゅ	gyu	ぎょ	gyo
ざ	za	じ	ji	ず	zu	ぜ	ze	ぞ	zo	じゃ	ja	じゅ	ju	じょ	jo
だ	da	ぢ	ji	づ	zu	で	de	ど	do	ぢゃ	ja	ぢゅ	ju	ぢょ	jo
ば	ba	び	bi	ぶ	bu	べ	be	ぼ	bo	びゃ	bya	びゅ	byu	びょ	byo
ぱ	pa	ぴ	pi	ぷ	pu	ぺ	pe	ぽ	po	ぴゃ	pya	ぴゅ	pyu	ぴょ	pyo

1) はねる音「ん」は、nで表す。ただし、b, m, pの前ではmで表す。

はねる音を表すnと、次にくる母音字または「や行」のyを切り離す必要がある場合には、nの次に「-」（ハイフン）を入れる。

2) つまる音は、次に来る最初の子音字を重ねて表す。

ただし、次にchが続く場合には、cを重ねずにtを用いる。

3) 長音は、^ˉ , ^ˆ (母音字の上につける長音記号), hを用いないことを基本とする。

②英語表記の基本的事項

表記方法の使い分け

同じ名称であっても、情報提供の目的によって英語表記方法が違う場合があるので、注意する。

外国語表記は、初めて来日した外国人にも分かることが基準となる。

■公共交通機関の駅名・バス停名を表示する場合

(アナウンス等の聞き取りを重視する場合)

車内アナウンスを外国人が聞き取り理解できなければならないので、日本語をそのままローマ字表記する。

例外として、空港・港の最寄り駅・バス停など、外国人も多数利用する駅・バス停については、機能の訳も併記する。

例) 熊本空港 → Kumamoto-kuko (Airport)

■公共サインに名称を表示する場合

(上記以外のサインで、施設機能の案内を重視する場合)

誘導サイン(目的地の方向を示す)や定点・説明サイン(施設の目的などをしめす)は、施設の機能を案内しなければならないので、施設機能の部分は翻訳する。

例) 熊本空港 → Kumamoto Airport

1) 日本語+外来語で構成されている場合は、外来語の部分は、もとの外国語で表記する。

やまなみハイウェイ ○ Yamanami High-way × Yamanami Hai-uei

2) 名称の各語の最初の文字を大文字で、他を小文字で表記する。ただし、名称の途中にある冠詞、前置詞、接続詞は、小文字表記する。なお、名称は全て大文字で表記することもできる。

阿蘇市役所 ○ Aso City Hall ○ ASO CITY HALL

熊本城跡 ○ Ruins of Kumamoto Castle

3) 略語は、使用しない。ただし繁雑になる場合は、英語圏で一般的に使われている略語に限り使用できる。

英語圏で一般的に使用される略語の例

	正式表記	略語
大通り	Avenue	Ave.
ビル	Building	Bldg.
部門, 学科	Department	Dept.
大学	University	Univ.

英語圏で一般的でない略語の例

	正式表記	略語
高校	High School	H.S.
病院	Hospital	Hosp.
駅	Station	Sta.
大学	University	U.

③固有名詞の表記

項目	表記の基準	事例
町名	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字表記することを基本とする。 東、西、南、北、上、中、下を含む場合は、それらの言葉と固有名称を「-」で区切る。 (注) 本来の方位の意味を明らかに失ったものや、固有名称として考えられるものは、区切らない。 	南阿蘇 Minami-Aso ----- 北里 Kitazato
	<ul style="list-style-type: none"> 固有名称に機能、態様を示す言葉や、「町」「前」がつく場合も、「-」やスペース「 」で区切る。 (注) 本来の機能や態様の意味を明らかに失ったもの、および、機能や態様を示す言葉を「が」「の」でつなぐ場合は、区切らない。 	南小国町 Minami-Oguni machi 中通 Naka-dori ----- 黒川 Kurokawa
住居表示	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字表記することを基本とする。 数字は算用数字で表記する。 都道府県名や市町村名については、「都」「道」「府」「県」「市」「町」「村」の部分は訳する。 	〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地 2402 2402, Ichinomiya Town Miyaji, Aso City 869-2612 ----- 熊本県 Kumamoto Prefecture 阿蘇市 Aso City 小国町 Oguni Town 西原村 Nishihara Village
駅名や バス停名	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字表記することを基本とする。 数字は、算用数字で表記する。 	阿蘇白川 Aso-Shirakawa
自然地形 の名称	<ul style="list-style-type: none"> 固有名称はローマ字で、態様は英語に訳して表記する。 (注) 固有名称が完全に独立していない場合は、右の例のように表記する。 	阿蘇山 Mt.Aso 白川水源 Shirakawa Spring ----- 俵山 Mt.Tawarayama
通り名	<ul style="list-style-type: none"> 固有名称部分をローマ字で表記し、その後に Street をつける。 	中通り Naka Street
施設名	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置者が英語名を正式に決定している場合は、それを使用する。 	阿蘇大観峰 Aso-Daikanbo 阿蘇火山博物館 Aso Volcano Museum
	<ul style="list-style-type: none"> 正式の英語名がない場合や不明な場合は、固有名称はローマ字で、機能や態様は英語に訳して表記する。 (注) 固有名称が完全に独立していない場合は、右の例のように表記する。 	揺ヶ池公園 Yurugigaike Park 阿蘇神社 Aso Shrine ----- 満願寺 Manganji Temple 阿蘇大橋 Aso-Ohashi Bridge
人名	<ul style="list-style-type: none"> 姓と名の順序は、本人の本来の順序で表記する。 姓と名の区別を示す必要がある場合は、姓をすべて大文字表記し、名は頭文字のみ大文字表記とする。 	北里 柴三郎 Kitazato Shibasaburo KITAZATO Shibasaburo ----- ジョージ・ワシントン George Washington George WASHINGTON

(2) 韓国語

①日本語のハングル表記

日本語をハングルで表記する場合には、次の表記を用いる。

かな	ハングル													
	語頭					語中・語尾								
あ	い	う	え	お	아	이	우	에	오	아	이	우	에	오
か	き	く	け	こ	가	기	구	계	고	카	키	쿠	케	코
さ	し	す	せ	そ	사	시	스	세	소	사	시	스	세	소
た	ち	つ	て	と	다	지	쓰	테	도	타	치	쓰	테	토
な	に	ぬ	ね	の	나	니	누	네	노	나	니	누	네	노
は	ひ	ふ	へ	ほ	하	히	후	헤	호	하	히	후	헤	호
ま	み	む	め	も	마	미	무	메	모	마	미	무	메	모
や		ゆ		よ	야		유		요	야		유		요
ら	り	る	れ	ろ	라	리	루	레	로	라	리	루	레	로
わ			を		와				오	와				오
		ん					ㄴ					ㄴ		
が	ぎ	ぐ	げ	ご	가	기	구	계	고	가	기	구	계	고
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	자	지	즈	제	조	자	지	즈	제	조
だ	ぢ	づ	で	ど	다	지	즈	테	도	다	지	즈	테	도
ば	び	ぶ	べ	ぼ	바	비	부	베	보	바	비	부	베	보
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	파	피	푸	페	포	파	피	푸	페	포
きゃ		きゅ		きょ	가		규		교	카		큐		쿄
ぎゃ		ぎゅ		ぎょ	가		규		교	가		큐		교
しゃ		しゅ		しょ	샤		슈		쇼	샤		슈		쇼
じゃ		じゅ		じょ	자		주		조	자		주		조
ちゃ		ちゅ		ちょ	차		추		초	차		추		초
ひゃ		ひゅ		ひょ	하		휴		효	하		휴		효
びゃ		びゅ		びょ	바		뷰		뷰	바		뷰		뷰
ぴゃ		ぴゅ		ぴょ	파		퓨		표	파		퓨		표
みゃ		みゅ		みょ	마		뮤		묘	마		뮤		묘
りゃ		りゅ		りょ	라		류		료	라		류		료

- 1) か,き,く,け,こ 語頭にくる場合は「가,기,구,계,고」を使用する。
語頭にこない場合は「카,키,쿠,케,코」を使用する。
- 2) た,ち,て,と 語頭にくる場合は「다,지,테,도」を使用する。
語頭にこない場合は「타,치,테,토」を使用する。
- 3) つ 日本語読みの発音を重視して「츠」「쓰」「쯔」を使用する。
(使い分けが困難なときは、「쯔」を使用する。)
- 4) つまる音 つまる音「っ」は「ㅍ」で表記する。
- 5) はねる音(ん) 撥音「ん」は「ㄴ」を使用する。
- 6) 長音 長音は表記しないことを基本とする。

*他の名称と区別するために必要な場合は、長音を表記することもできる。
(たとえば、大野氏と小野氏を同時に表記するような場合)

※P. 34～35 の表記法は、1986年1月7日に大韓民国の文教部（現在の教育人的資源部）で確定された外来語表記法（85-11号）を基にしている。

②韓国語表記の基本的事項

表記方法の使い分け

同じ名称であっても、情報提供の目的によって韓国語表記方法が違う場合があるので、注意する。

外国語表記は、初めて来日した外国人にも分かることが基準となる。

■公共交通機関の駅名・バス停名を表示する場合

(アナウンス等の聞き取りを重視する場合)

車内アナウンスを外国人が聞き取り理解できなければならないので、日本語をそのままハングルで表記する。

例外として、空港・港の最寄り駅・バス停など、外国人も多数利用する駅・バス停については、機能の訳も併記する。

例) 熊本空港 → 구마모토쿠코

■公共サインに名称を表示する場合

(上記以外のサインで、施設機能の案内を重視する場合)

誘導サイン(目的地の方向を示す)や定点・説明サイン(施設の目的などをしめす)は、施設の機能を案内しなければならないので、施設機能の部分は翻訳する。

例) 熊本空港 → 구마모토공항

- 1) 外来語のハングル表記については、p 34~35 の表記法に基づかず、元の外来語に対応したハングル表記法を用いることを基本とする。なお、韓国で使用されている表記には、表記法に基づいていないものがあるため、その場合は、韓国で一般的な表記を使うこととする。

○○センター

○ 센터

× 센타

- * ただし、元の外来語に対応した表記をしても、施設などのイメージにつながらない場合は、日本語読みで表記したり、外来語を使わずに翻訳したりする。

③固有名詞の表記

項目	表記の基準	事例
町名	<ul style="list-style-type: none"> 日本語読みでハングルを表記する。 数字は算用数字で表記する。 	南阿蘇 미나미아소 北里 기타자토 南小国町 미나미오구니마치 中通 나카도리 黒川 구로카와
住居表示	<ul style="list-style-type: none"> 日本語読みで表記することを基本とする。 「番」「号」「階」は韓国語に訳す。 数字は算用数字で表記する。 	〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地 2402 아소시 이치노미야정 미야지 2402
	<ul style="list-style-type: none"> 県名や市区町村名は右例のように表記する。 (「町」「村」には適切な訳語がないため、「町」「村」の韓国語読みで表す。) 	熊本県 구마모토현 阿蘇市 아소시 小国町 오구니정 西原村 니시하라촌
駅名や バス停名	<ul style="list-style-type: none"> 日本語読みで表記することを基本とする。 数字は、算用数字で表記する。 	阿蘇白川 아소시라카와
自然地形 の名称	<ul style="list-style-type: none"> 固有名称部分は日本語読みでハングル表記し、 態様は韓国語に訳すことを基本とする。 河川は、大きさにより訳語を使い分ける。 (めやす：一級河川程度→강, それ以外→천) 	阿蘇山 아소 산 白川水源 시라카와수원
	(注) 固有名称が完全に独立していない場合は、 全体を日本語読みでハングル表記し、その後に態様 の韓国語訳をつける。	俵山 다와라야마 산
通り名	<ul style="list-style-type: none"> 「〇〇通り」「〇〇道路」は、固有名称部分をハ ングル表記し、その後に「도로」をつける。 	中通り 나카도로
施設名	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置者が韓国語名を決めて使用している 場合や一般的に使用されているものがある場 合は、それを使用する。 	阿蘇大観峰 아소 다이칸보 阿蘇火山博物館 아소 화산 박물관
	<ul style="list-style-type: none"> 上記のような韓国語名がない場合は、固有名称 部分は日本語読みでハングルを表記し、機能や 態様は韓国語に訳して表記する。 	揺ヶ池公園 유루기가이케공원 阿蘇神社 아소신사
	(注) 固有名称が完全に独立していない場合は、全 体を日本語読みで表記し、その後に機能や態様 の韓国語訳をつける。	満願寺 만간지 절 阿蘇大橋 아소오하시 대교
人名	<ul style="list-style-type: none"> 姓と名の順序は、本人の本来の順序で表記す ることを基本とする。 	北里 柴三郎 기타자토 시바사부로 ジョージ・ワシントン 조지 워싱턴

(3) 中国語

①中国語表記の基本的事項

中国本土で使われている文字は簡体字であり，台湾で使われている文字は繁体字である。情報提供の目的に応じて，必要な字体を選ぶ。

②固有名詞の表記

項目	表記の基準	事例（簡体字）
住所	・中国語表記しないことを基本とする。	〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地 2402
町名 駅名 バス停名	・日本の漢字による表記でほぼ理解できるが，中国語表記すると，より親切である。	南阿蘇 南阿蘇 黒川 黒川
自然地形 の名称	・日本の漢字による表記でほぼ理解できるが，中国語表記すると，より親切である。	阿蘇山 阿苏山
通り名	・日本の漢字による表記でほぼ理解できるが，中国語表記すると，より親切である。 ・固有名称の漢字は中国漢字に置き換え，「道路」や「通り」には中国漢字の「路」を用いる。 ・ひらがなやカタカナによる固有名称は，中国語表記の基準を示すことが困難であるため，統一的な表記をする。	中通り 中路
施設名	・施設の設置者が中国語名を決めて使用している場合や一般的に使用されているものがある場合は，それを使用する。	阿蘇大観峰 阿苏大观峰 阿蘇火山博物館 阿苏火山博物馆
	・上記のような中国語名がない場合，漢字の固有名称は中国漢字に置き換え，機能や態様は訳す。 ・ひらがなやカタカナによる固有名称は，日本語の発音に近い中国漢字をあてる方法や，意味から適した中国語をあてる方法などが考えられる。いったん定めた固有名称の表記は，統一的に使用する。	揺ヶ池公園 揺之池公园 阿蘇神社 阿苏神社 やまなみハイウェイ 山脉高速公路
人名	・中国で中国語表記が決められている著名人の場合や，本人が中国語表記を決めて使っている場合は，それを使用する。	毛沢東 毛泽东 樋口一葉 樋口一叶 George Washington 乔治・华盛顿
	・上記のような中国語表記がない場合は，本人の了解のもとに，適宜，中国漢字で表記する。	

4. ピクトグラム

ピクトグラムは、視覚的に意味が伝わりやすいため、サインなどに積極的に使用することとする。また、ピクトグラムは統一されることが望まれるため、熊本県が推奨する国土交通省関係公益法人の交通エコロジー・モビリティ財団が定めた「標準案内用図記号」を使用する。

(1) 公共・一般施設



案内所
Question & answer
안내소
问讯处



情報コーナー
Information
정보코너
信息中心



病院
Hospital
병원
医院



救護所
First aid
구호소(응급)
救护所



警察
Police
경찰
警察



お手洗
Toilets
화장실
洗手间



男子
Men
남자
男



女子
Women
여자
女



身障者用設備
Accessible facility
장애인용 설비
残疾人专用设备



車椅子スロープ
Accessible slope
휠체어용 슬로프
轮椅专用通道



飲料水
Drinking water
음료수
饮用水



喫煙所
Smoking area
흡연실
吸烟处

※3



チェックイン/受付
Check-in/Reception
체크인/접수
总台



忘れ物取扱所
Lost and found
분실물 취급소
失物招领处



ホテル/宿泊施設
Hotel/Accommodation
호텔/숙박시설
飯店/住宿设施



きっぷうりば/精算所
Tickets/Fare adjustment
매표소/정산소
售票处/结算补票处



手荷物一時預かり所
Baggage storage
수하물 일시보관소
行李暂存处



コインロッカー
Coin lockers
물품보관함
投币式存物柜



休憩所/待合室
Lounge/Waiting room
휴게실/대합실
休息处/等候室



ミーティングポイント
Meeting point
만남의장소
等人处



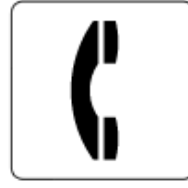
銀行・両替
Bank, money exchange
은행·환전
銀行·兌換
※2



キャッシュサービス
Cash service
현금서비스
自动取款机 (ATM)
※2



郵便
Post
우편
邮政



電話
Telephone
전화
电话



ファックス
Fax
팩스
传真



カート
Cart
카트
行李车



エレベーター
Elevator
엘리베이터
电梯



エスカレーター
Escalator
에스컬레이터
自动扶梯



階段
Stairs
계단
楼梯



乳幼児用設備
Nursery
유아용 편의시설
嬰幼兒专用设备



クローク
Cloakroom
탈로크
衣帽寄存处



更衣室
Dressing room
탈의실
男子更衣室



更衣室(女子)
Dressing room(women)
탈의실(여자)
女子更衣室



シャワー
Shower
샤워
淋浴



浴室
Bath
욕실
浴室



水飲み場
Water fountain
음료대
饮水机



くず入れ
Trash box
쓰레기통
垃圾箱



リサイクル品回収施設
Collection facility for the recycling products
재활용품 회수시설
废品再利用回收设施

(2) 交通施設



航空機／空港
Aircraft／Airport
항공기／공항
飞机／机场



鉄道／鉄道駅
Railway／Railway station
철도／철도역
铁路／火车站



船舶／フェリー／港
Ship／Ferry／Port
선박／훼리／항
船舶／轮渡／港口



ヘリコプター／ヘリポート
Helicopter／Heliport
헬리콥터
直升飞机／直升飞机机场



バス／バスのりば
Bus／Bus stop
버스／버스타는곳
公共汽车／公共汽车站



タクシー／タクシーのりば
Taxi/Taxi stop
택시／택시타는곳
出租车／出租车搭乘处



レンタカー
Rent a car
렌터카
租赁车



自転車
Bicycle
자전거
自行车



ロープウェイ
Cable car
케이블카
空中缆车



ケーブル鉄道
Cable railway
케이블철도
缆车



駐車場
Parking
주차장
停车场



出発
Departures
출발
出发



到着
Arrivals
도착
到达



乗り継ぎ
Connecting flights
갈아타는곳
转乘



手荷物受取所
Baggage claim
수화물 취급소
领取行李处



税関／荷物検査
Customs/Baggage check
세관／세관검사
海关／行李检查



出国手続／入国手続／檢疫／書類審査
Immigration/Quarantine/Inspection
출국수속／입국수속／서류심사
出国手续／入国手续／检疫／证件检查

(3) 商業施設



レストラン
Restaurant
레스토랑
餐厅



喫茶・軽食
Coffee shop
차와・스낵
咖啡・饮料・小吃



バー
Bar
바
酒吧



ガソリンスタンド
Gasoline station
주유소
加油站



会計
Cashier
계산하는곳
付款处
※2



店舗／売店
Shop
점포／매점
商店



新聞・雑誌
Newspapers, magazines
신문・잡지
报纸・杂志



薬局
Pharmacy
약국
药店



理容／美容
Barber/Beauty salon
이용／미용
理发／美容



手荷物宅配
Baggage delivery service
수화물 택배
邮寄行李处

(4) 観光・文化・スポーツ施設



展望地／景勝地
Scenic sites
전망대／경승지
展望台／风景点



陸上競技場
Athletic stadium
육상 경기장
运动场



サッカー競技場
Football stadium
축구 경기장
足球场



野球場
Baseball stadium
야구장
棒球场



テニスコート
Tennis court
테니스 코트
网球场



海水浴場／プール
Swimming place
해수욕장／수영장
海水浴场／游泳池



スキー場
Ski ground
스키장
滑雪场



キャンプ場
Camp site
캠핑장
露营地



温泉
Hot spring
온천
温泉



公園
Park
공원
公园



博物館／美術館
Museum
박물관／미술관
博物馆／美术馆



歴史的建造物
Historical monument
역사적건조물
历史建筑



応用例 1
variant 1
응용예 1
应用举例 1



応用例 2
variant 2
응용예 2
应用举例 2



自然保護
Nature conservation
자연보호
保护自然



スポーツ活動
Sporting activities
스포츠 활동
体育活动中心



스쿼시コート
Squash court
스쿼시 코트
壁球场



Tバーリフト
T bar lift
T 마 리프트
T 型爬山电梯



腰掛け式リフト
Chairlift
좌석식 리프트
坐式上山电梯

(5) 禁止



一般禁止
General prohibition
일반금지
非工作人员禁止入内



禁煙
No smoking
금연
禁止吸烟
※4



火氣厳禁
No open flame
화기엄금
禁火



進入禁止
No entry
진입금지
禁止进入



駐車禁止
No parking
주차금지
禁止停车



自転車乗り入れ禁止
No bicycles
자전거 진입금지
自行车禁止入内



立入禁止
No admittance
진입금지
禁止入内



走るな／かけ込み禁止
Do not rush
달리기／뛰어들기금지
勿跑／禁止跑入



さわるな
Do not touch
만지지 마세요
请勿触摸



捨てるな
Do not throw rubbish
머리지 마세요
请勿乱扔垃圾



飲めない
Not drinking water
마시지 마세요
不能饮用



携帯電話使用禁止
Do not use mobile phones
휴대폰 사용금지
禁止使用手机



電子機器使用禁止
Do not use electronic devices
전자기기 사용금지
禁止使用电子产品



撮影禁止
Do not take photographs
촬영금지
禁止拍摄



フラッシュ撮影禁止
Do not take flash photographs
플래시 촬영금지
禁止闪光灯拍摄



ベビーカー使用禁止
Do not use prams
유모차 사용금지
禁止使用婴儿车
※1



遊泳禁止
No swimming
수영금지
禁止游泳



キャンプ禁止
No camping
캠핑금지
禁止搭帳篷露營



飲食禁止
Do not eat or drink here
음식물금지
禁止饮食



ペット持ち込み禁止
No uncaged animals
애완동물 출입금지
禁止带宠物

(6) 注意



一般注意
General caution
일반주의
注意



障害物注意
Caution,obstacles
장애물주의
小心障碍物
※1



上り段差注意
Caution,uneven
access/up
위턱 주의
小心上楼楼梯



下り段差注意
Caution,uneven
access/down
아래턱 주의
小心下楼楼梯



滑面注意
Caution,slippery surface
미끄럼 주의
小心路滑



転落注意
Caution,drop
추락주의
小心摔跤
※1



天井に注意
Caution,overhead
머리 주의
小心碰头



感電注意
Caution,electricity
감전주의
小心触电

(7) 指示



一般指示
General mandatory
일반지시
一般指示



静かに
Quiet please
조용히
肃静



左側にお立ちください
Please stand on the
left
좌측통행
请靠左边站立
※1



応用例
(右側にお立ちください)
variant
(Please stand on the
right)
응용예
(우측통행)
应用举例
(请靠右边站立)
※1



二列並び
Line up in twos
두줄서기
请排成两排
※1

※1 文字による補助表示が必要。

※2 通貨記号は状況に合わせて変更することができる。

※3 火災予防条例で右記の図記号の使用が規定されている場所には、
右記の図記号を使用する必要がある。

※4 火災予防条例で右記の図記号の使用が規定されている場所には、



IV. 阿蘇サイン整備の推進に向けて

1. 阿蘇サイン整備の推進に向けて

阿蘇サインは、本ガイドラインに示す自動車系誘導サイン、歩行者系案内サイン、多言語化に基づいて各市町村が主体的に整備を進めていくことを基本とする。

ただし、自動車系誘導サインについては、平成3年度阿蘇サイン計画に基づき、各市町村の創意工夫によって整備が進んでいる。このため、既存の自動車系誘導サインについては、老朽化や情報の更新時において再整備する際に、ガイドラインに沿ったサイン整備を行うものとする。

2. 阿蘇サインの管理

各市町村によるサイン整備について、容易に把握できるよう、また設置状況を確認し、新規追加、補修などが円滑に行えるよう、台帳管理と維持管理を適切に行うものとする。

台帳管理

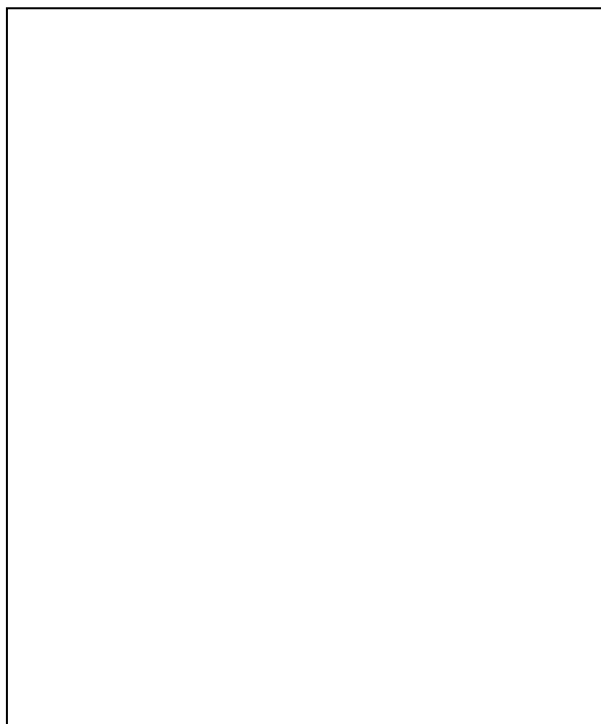
- ・ 図面の管理
- ・ 設置位置図の管理
- ・ 発注図書等設計書の管理
- ・ デザインの管理
- ・ 関連部署との調整事項の管理
- ・ 住民の要望と対応事項の管理

維持管理

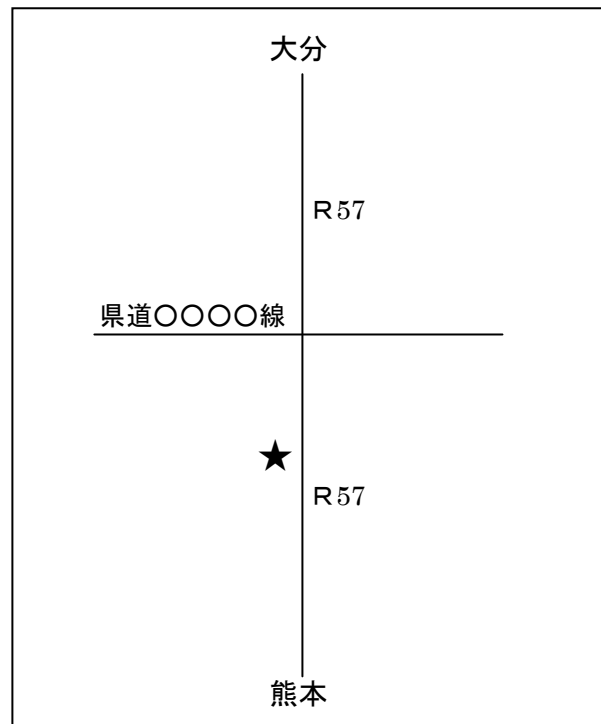
- ・ 日常の設置状況（劣化、破損等の確認）
- ・ 災害や事故等における被害確認と対応

<管理台帳例> ※この管理表に加え、設計図書を添付する。

現場写真



設置箇所

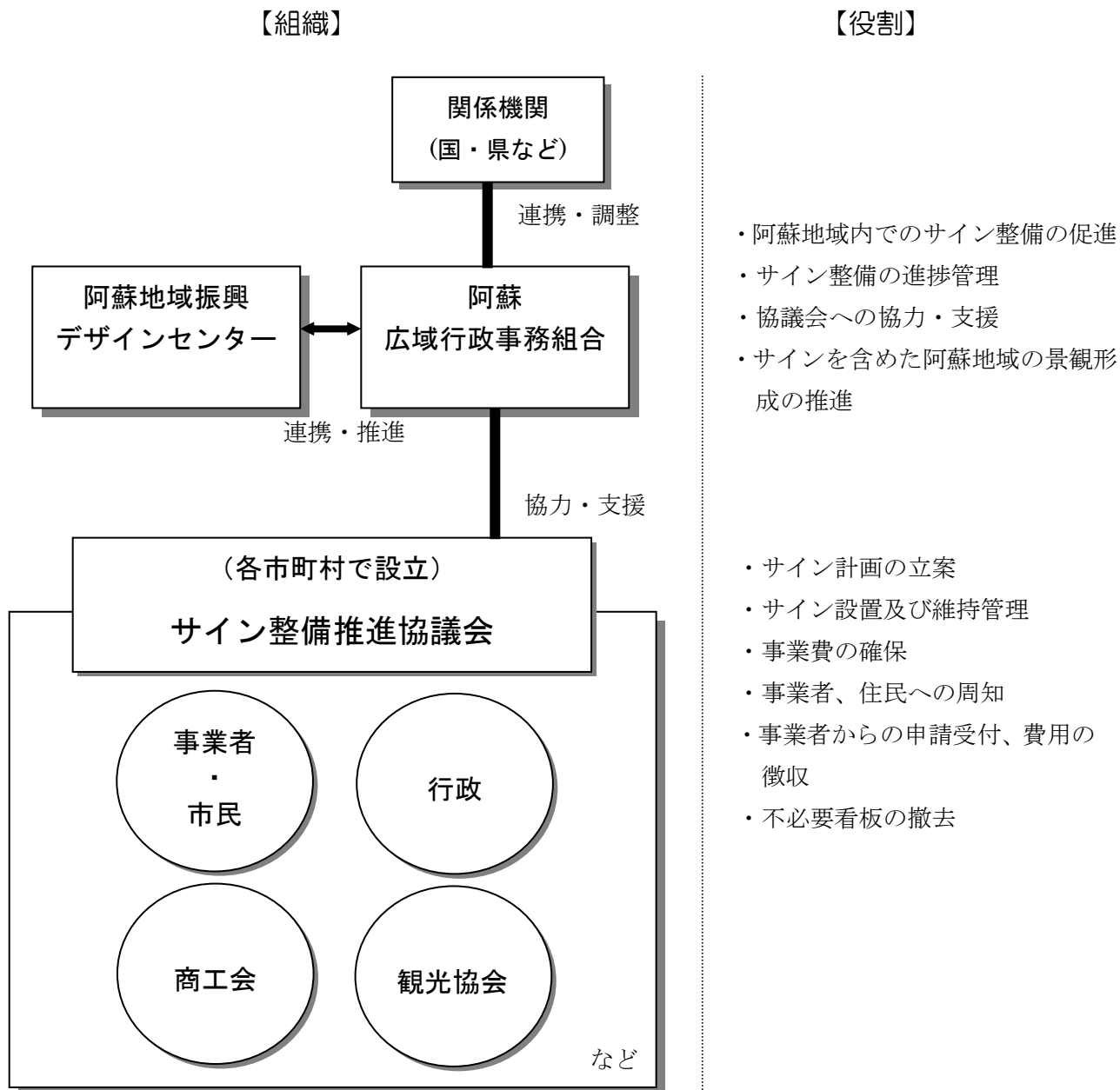


所在地	〇〇市〇〇町大字〇〇 〇〇番地		地目	〇〇	
沿線道路	国道 57 号		基礎占有地積	〇 m ²	
サインのタイプ	高さ	H=〇〇	表示面積 (面数)	〇〇×〇〇 (2 面)	
土地所有者	氏名	〇〇 〇〇			
	住所	〇〇市〇〇町大字〇〇 〇〇番地	電話番号	〇〇-〇〇〇〇	
契約形態	例) 観光協会が土地使用賃貸借契約		設置年度	20〇〇年度	
施工者	氏名	(株)〇〇〇〇〇〇		電話番号	〇〇-〇〇〇〇
	住所	〇〇市〇〇町〇〇 〇〇番地			
改修履歴 (例)	年月	改修内容		費用	
	03.9	例) 観光協会と市が共同で設置 ※業者: (株)〇〇〇〇〇〇		約¥000,000	
	06.2	例) 以前の物を撤去し、横に市が新設 ※業者: △△△(株)		約¥000,000	
備考	例) 借地料は観光協会が負担。協会との協定書あり。				

3. 阿蘇サイン整備の推進体制

(1) 推進体制と役割

阿蘇の良好な景観形成を目指して各市町村にサインを設置する関係者との協議を行なうなどの柔軟な対応が求められることとなる。効率的な推進の上では事業者や住民、行政、その他関係者からなる協議会を組織するなど、サイン整備を推進していく体制の整備等が必要である。



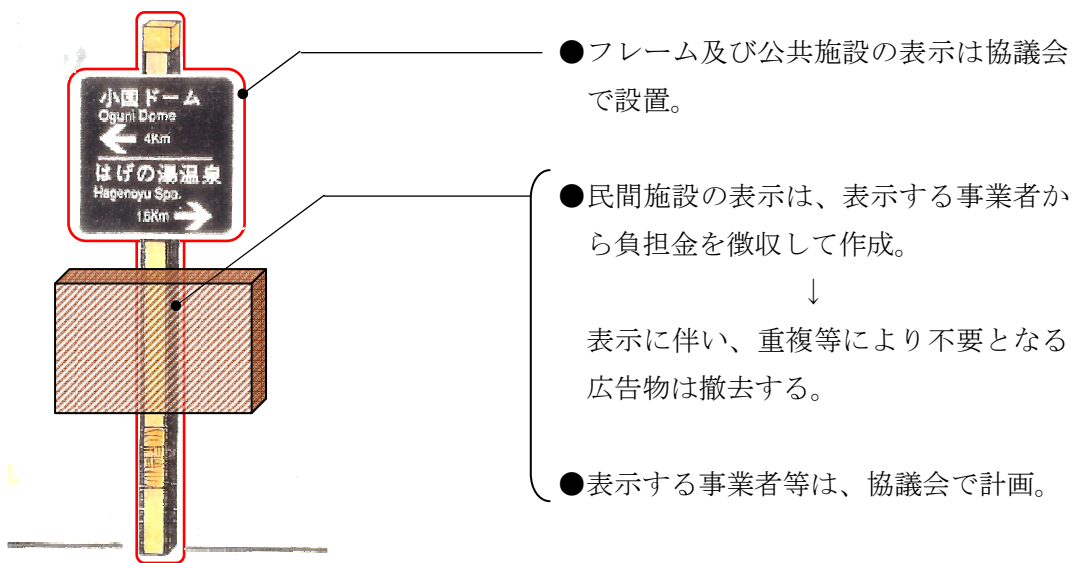
(2) 民間サインとの連携

屋外広告物条例においても、市街地部を除き地域全般に厳しい規制が行われている。しかし、阿蘇地域の中には各種の案内を目的とする道標等が立てられ、阿蘇の雄大な自然景観が大きく影響を与えているところもみられる。

阿蘇サイン計画は、公共施設を中心に案内誘導等を行っていくが、民間施設が設置する道標と目的を同じくするところも多い。よって出来る限り民間施設の表示を阿蘇サインに組み込み集合化を図り、単独で設置される民間サインを減少させ、阿蘇の自然景観の保全に努めていく。民間サインの組み込みについては、各市町村のサイン整備推進協議会で事業者と協働でサイン計画を検討し、機能性・公平性等が確保できる仕組みを確立していく。

また、このような取組みを推進していくには、道路占用の基準緩和や屋外広告物条例の運用、事業者等の理解及び意識向上等の課題があり、景観法や屋外広告物法を活用しながら解消していく必要がある。

■民間サインと連携した整備の仕組み



4. サイン整備を契機とする阿蘇地域の景観形成

阿蘇地域には、五岳、外輪山、草原等で創り出される雄大な自然景観、そこでの営みから生み出されてきた集落景観などの魅力的な景観が備わっている。この景観は、多くの人々の心を掴み、阿蘇地域での人々の生活や観光活動を支える重要な資源となっていることを十分に考慮し、今後、将来にわたり、阿蘇地域の社会基盤となるこの魅力的な景観を守り育てていく取組みを積極的に行うことにより、世界に誇れる阿蘇らしい景観を創出していく。

全国的に統一される企業の看板や奇抜で目立つ色彩の建物や看板、集中する道標、自然景観を考慮しない樹木の伐採等が行われるため、各市町村は景観に関するガイドラインや関連条例等を整備しながら、阿蘇地域の景観を守り育てていく取組みを早急に開始する必要がある。

このような取組みは、“阿蘇はひとつ”という観念から阿蘇地域全体で統一した理念や方針のもと、関係する自治体や機関が一体となって、足並みをそろえ協働して取り組むことが重要なポイントとなる。阿蘇地域の一体的な景観を守り育てていくことは、人を惹きつけるための重要な要素であり、これからの各市町村の地域振興につながっていく。

そこで、関係自治体や機関が一体となって阿蘇地域全体の景観を守り育てていくために、平成16年度に制定された景観法に基づいて取組んでいくことが望ましい。

その取組みのシナリオを以下に示す。

①阿蘇地域の7市町村が、阿蘇地域の一体的な景観を守り育てていくことを“阿蘇はひとつ”を合言葉に合意する。

②国や県、その他関係機関の協力を受け、7市町村が景観形成の方針を共有し、それぞれで景観形成に対する合意形成を確立する。

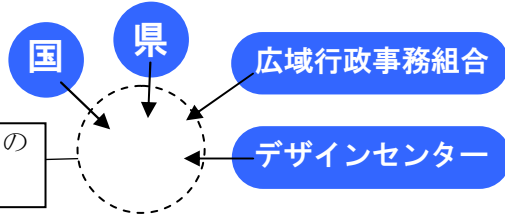
③景観法を活用し、連携し合いながら阿蘇の景観形成の目標や方針、ルールや罰則等を示す景観計画を策定し、その実現に向けて景観条例と屋外広告物条例を統一して制定する。

④この景観計画や条例を基盤に7市町村と関係機関が協議会を設立し、阿蘇地域全体を見渡した具体的な規制やデザインの誘導、デザインのアドバイス等を行い、世界に誇れる阿蘇地域の景観づくりを推進していく。

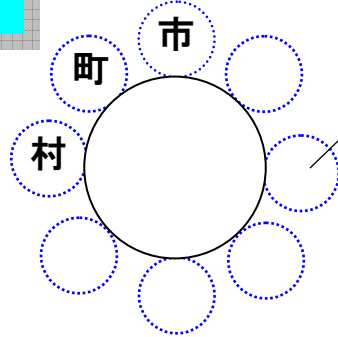
① 意思決定期

STEP 0

市町村内部で景観形成の
推進を合意する



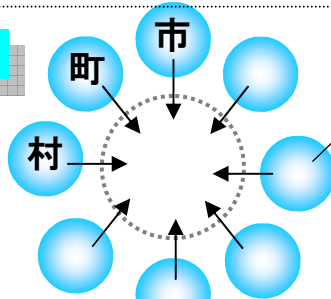
STEP 1



市町村が景観行政団体の
認定を受ける

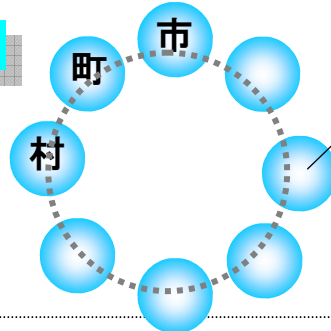
② 基盤形成期

STEP 2



市町村が連携して景観計
画を策定する

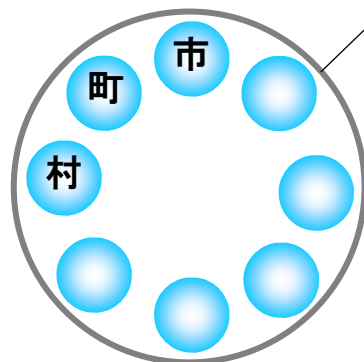
STEP 3



阿蘇地域全体で統一性
を持ちながら、市町村で景
観条例、屋外物条例を策
定する

③ 景観形成期

STEP 4



阿蘇地域全体で、景観形
成に向けた規制・誘導・
デザインアドバイス等を行
う

参考

■誘導施設の一覧

1次情報		市町村誘導							
新	旧	著名地点	2次情報		3次情報	4次情報			
			阿蘇市	阿蘇町	<ul style="list-style-type: none"> 大観峰 内牧温泉 阿蘇神社 仙酔峡 	<ul style="list-style-type: none"> 赤水駅 市川駅 内牧駅 阿蘇駅 いこいの村駅 ASO田園空間博物館総合案内所 	<ul style="list-style-type: none"> 赤水温泉 阿蘇いこいの村 阿蘇みんなの森 はな阿蘇美 農村公園あびか 	<ul style="list-style-type: none"> 阿蘇インフォメーションセンター ハイランドG.C 阿蘇坊中温泉 夢の湯 西蔵殿寺 霜宮神社 	<ul style="list-style-type: none"> 阿蘇G.C 阿蘇プリンスホテルG.C 乙姫ペンション村 カドリー・ドミニオン
	一の宮町			<ul style="list-style-type: none"> 宮地駅 	<ul style="list-style-type: none"> 国立阿蘇青年の家 阿蘇一の宮温泉センター 阿蘇保養センター 一の宮町インフォメーションセンター 四季彩いちのみや 	<ul style="list-style-type: none"> 古閑の滝 中通古墳群 国造神社 アゼリア21 古代の里キャンプ村 	<ul style="list-style-type: none"> 小嵐山 城山展望所 手野の名水 水基めぐりの道 参勤交代道 阿蘇市一の宮運動公園 あぜり庵 古代の里民宿村 坂梨御茶屋跡 	<ul style="list-style-type: none"> 田鶴原神社 矢村社 馬場八幡宮 荻の草神社 坂梨手永会所跡 浄土寺(石仏) 子安観音像 天神橋(めがね橋) 上・下御倉古墳 	<ul style="list-style-type: none"> 阿蘇古代の郷美術館 日本山妙法寺 エルパティオ牧場 やまなみ夢ひろば
	波野村		<ul style="list-style-type: none"> 波野駅 滝水駅 道の駅なみの神楽苑 すずらん自生地 荻岳公園 荻神社 なみの高原やすらぎ交流館 	<ul style="list-style-type: none"> 中江神楽殿 	<ul style="list-style-type: none"> 小池野の池 日本一の大くぬぎ 郷土芸能伝承館 ウォーキングセンター 阿蘇望橋 	<ul style="list-style-type: none"> 箱石峠 仏の塔 参勤交代道 八十八ヶ所霊場 千部塚 知事の塔 茶臼塚 			
	南小国町			<ul style="list-style-type: none"> 満願寺温泉 田ノ原温泉 小田温泉 扇温泉 白川温泉 清流の森 	<ul style="list-style-type: none"> 物産館きよらかアサ 七滝 太谷山ペンション村 	<ul style="list-style-type: none"> マゼノ渓谷 押戸石 竹ノ熊の大けやき 瀬の本松並木 すずめ地獄 山村広場 自然休養村管理センター 	<ul style="list-style-type: none"> 吉原戸神楽 千光寺 馬頭観音 唐笠松跡 	<ul style="list-style-type: none"> 湯夢プラザ そば街道 温泉館きよら 甲ノ瀬キャンプ村 観光りんご園 	
	小国町	杖立温泉 黒川温泉 瀬本高原	<ul style="list-style-type: none"> 富くじ六花園 スギトピア公園 林間広場 	<ul style="list-style-type: none"> 岳ノ湯温泉 はげの湯温泉 山川温泉 寺尾野温泉 奴留湯温泉 	<ul style="list-style-type: none"> ゆうステーション 物産館びらみっと 小国ドーム 木魂館・北里バラ 北里柴三郎記念館 坂本善三美術館 	<ul style="list-style-type: none"> 阿彌陀のスギ 下城の大イチョウ 鏡ヶ池 小国両神社 	<ul style="list-style-type: none"> 銅ヶ滝 下城滝 松原ダム 下釜ダム 	<ul style="list-style-type: none"> 鉢納宮 林業総合センター 商工会館 山村開発センター 	<ul style="list-style-type: none"> 杖立橋・Pホール 遊水狭 ズートピア 樺の森美術館 須永博士記念館 湯けむり茶屋
	産山村	阿蘇山上		<ul style="list-style-type: none"> 御湯船温泉館 花の温泉館 池山水源 山吹水源 ヒゴタイ公園 ファームビレッジ産山 うぶやま牧場 	<ul style="list-style-type: none"> 阿蘇やまなみG.C 産山民宿村 	<ul style="list-style-type: none"> 平川の大杉 一覽三山台 ヒゴタイロード ヒゴタイ大橋 	<ul style="list-style-type: none"> 乙宮神社 嵯峨神社 片俣阿蘇神社 平川神社 弁天坂の石畳 石尾野の石塔 鏡の松坂の石畳 参勤交代石畳道 	<ul style="list-style-type: none"> 産山水魚苑 やまなみ高原牧場 草原の駅うぶやま 山水亭 池山水苑 香草園 	
	高森町		<ul style="list-style-type: none"> 高森駅 	<ul style="list-style-type: none"> 高森温泉館 朋遊館 休暇村南阿蘇 高森町観光案内所 奥阿蘇物産館 湧水館 阿蘇高森G.C 	<ul style="list-style-type: none"> 高森峠千本桜 高森湧水トンネル公園 らくだ山公園 ピジターセンター野草園 奥阿蘇キャンプ場 オートキャンプ場 鍋の平キャンプ場 	<ul style="list-style-type: none"> 木郷の滝 大谷ダム 穿戸羅漢山 円福寺 高森城址 含蔵寺 光専寺 山村広場 	<ul style="list-style-type: none"> 穴迫稲荷神社 草部吉見神社 高森阿蘇神社 上色見熊野座神社 色見熊野座神社 祖母神社 川上神社 	<ul style="list-style-type: none"> 月廻り公園・温泉 高森田楽 	
	長陽村		<ul style="list-style-type: none"> 立野駅 長陽駅 加勢駅 阿蘇下田城ふれあい温泉駅 数鹿流ヶ滝 鮎返りの滝 	<ul style="list-style-type: none"> 地獄垂玉温泉 栃木温泉 栃木原温泉 火の鳥温泉 大阿蘇火の山温泉 	<ul style="list-style-type: none"> 温泉センターウイナス スパーク長陽 神楽の里公園 長陽パークゴルフ場 	<ul style="list-style-type: none"> 阿蘇東急G.C 熊本G.C ペンションメルヘン村 ペンションのんびり村 猿まわし劇場 阿蘇ファームランド 	<ul style="list-style-type: none"> 千間の滝 碧流の滝 金龍の滝 国民宿舎南阿蘇 民俗資料館 西南の役公園 	<ul style="list-style-type: none"> 長野阿蘇神社 西野宮神社 孝女白菊の碑 赤瀬伝吉の墓 碧流キャンプ場 	<ul style="list-style-type: none"> 風の丘阿蘇大野勝彦美術館 葉祥明阿蘇高原絵本美術館 阿蘇薬草園ハーブの里 阿蘇焼窯元 木之内観光農園 みつばち牧場
	白水村		<ul style="list-style-type: none"> 南阿蘇水の生まれる里白水高原駅 中松駅 阿蘇白川駅 見晴台駅 	<ul style="list-style-type: none"> 阿蘇白水温泉瑠璃 阿蘇白水郷美術館 南阿蘇高原ペンション村 白水ペンション村 	<ul style="list-style-type: none"> 南阿蘇村物産館自然庵 明神池名水公園 竹崎水源 池の川水源 塩井社水源 寺坂水源 吉田城御献上汲場 	<ul style="list-style-type: none"> 一心行の大桜 湧沢津水源 運動公園、B&Gプール 	<ul style="list-style-type: none"> 白川吉見神社 八坂神社 塩井社 孝女白菊の墓 千手観音 六地藏 光照寺の十一面観音 無量寺の阿彌陀座像 	<ul style="list-style-type: none"> 池の窪牧場 水加工場はくすい 	
	久木野村		<ul style="list-style-type: none"> 清水寺 十六羅漢 清水峠 地藏峠 恐ヶ淵 獅子ヶ岩 	<ul style="list-style-type: none"> 木の香湯 体験交流センター四季の森 南阿蘇C.C くぎのパークゴルフ場 	<ul style="list-style-type: none"> 久木野そば研修センター あそ望の郷くぎの 		<ul style="list-style-type: none"> 足手荒神 妙見神社(水源) 教育キャンプ場 		
	西原村	俵山峠 白川水源 グリーンピア南阿蘇		<ul style="list-style-type: none"> 俵山交流館萌の里 白糸の滝 揺ヶ池(お池さん) 風の里キャンプ場 	<ul style="list-style-type: none"> 肥後C.C グランドチャンピオンG.C 阿蘇グリーンヒルC.C 阿蘇ミルク牧場 	<ul style="list-style-type: none"> 大切畑ダム湖 扇坂展望所 	<ul style="list-style-type: none"> 物産館系舞季 鳥子地区物産館癒し野茶 	<ul style="list-style-type: none"> 泉力の湯 龍神の湯 阿蘇にしはらウインドファーム 風流 オーデオ道場 	

■見積もり

①耐久性の高いもの（SEB印刷）

主な素材	アルミ板、(ステンレス板、磁器タイル板)	耐候性	◎ 10年以上。
印刷原理・表現方法	油性顔料インクジェットプリンターで出力したものを各素材に転写し、EB（電子線硬化樹脂）コーティングする。	難燃性	◎ SEB樹脂コーティングのため。
出力解像度	◎ 720dpiの高画質	耐薬品性	◎ SEB樹脂コーティングのため。
表現色数	◎ 1670万色以上の高画質のフルカラー表現が可能。写真もきわめてリアルに表現できる。コーティングの際に熱を加えていないため、変色や素材の劣化も全くない。	表面硬度	◎
メンテナンス	◎ イタズラなどにも耐えるため、10年以上メンテフリー。	まとめ	○ コストはやや高価だが、耐候性・耐薬品性などの耐久性能を十分備えているため、コストパフォーマンスはきわめて高い。

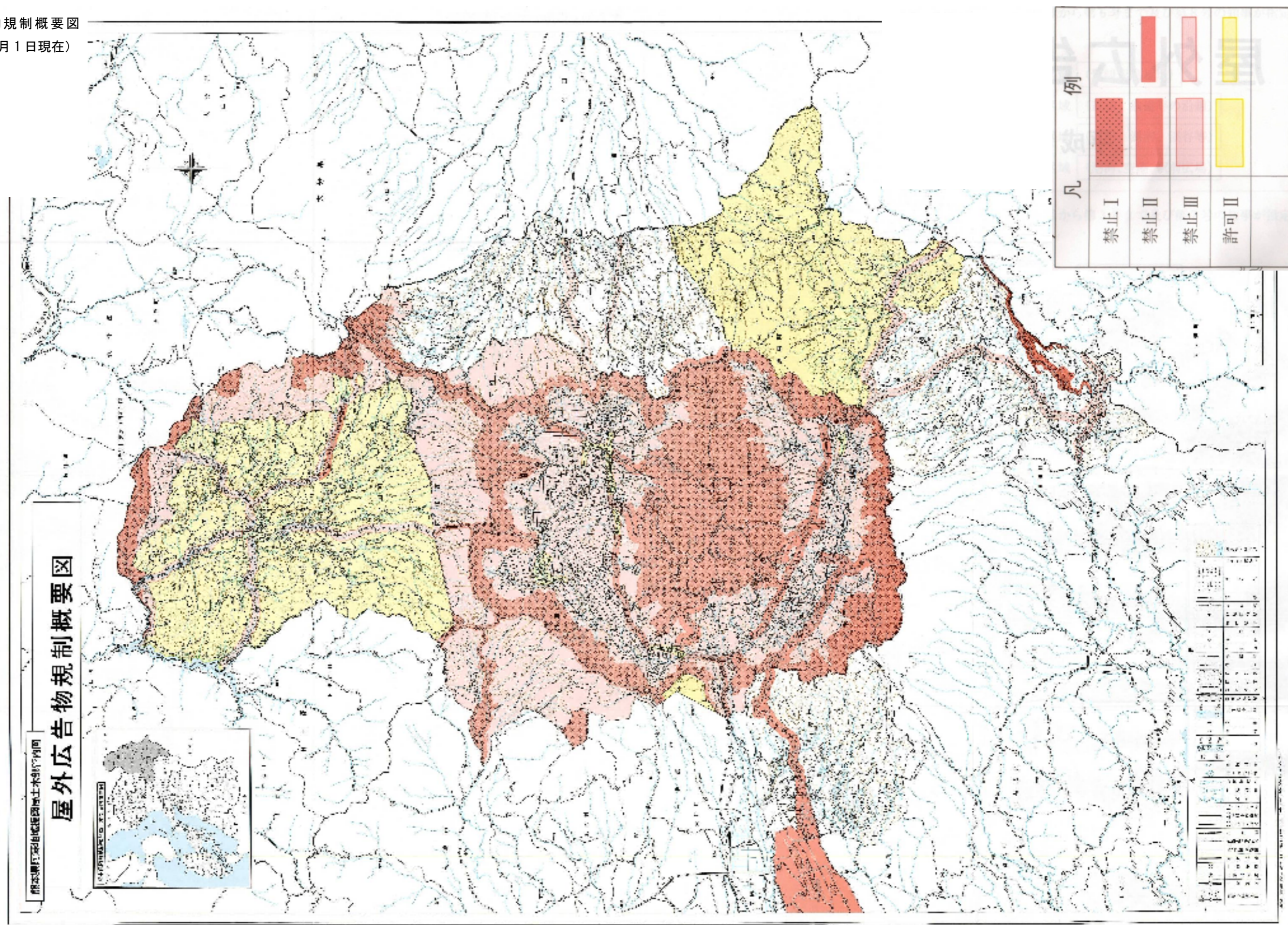
②書き換えの容易なもの（インクジェット印刷）

主な素材	塩ビシートに印刷したものを様々な素材に圧着。	耐候性	△ 3年程度。
印刷原理・表現方法	インクジェットプリンターで顔料液体インクを出力し、各種ラミネートフィルムで保護する。	難燃性	× 表面のラミネート材は主に塩ビのため、炎に弱い。
出力解像度	○～◎ 350～1200dpi程度と中レベル～高レベルまで多種多様。	耐薬品性	× 表面のラミネート材は主に塩ビのため、薬品に弱い。
表現色数	◎ 1670万色以上の表現が可能で、圧倒的な超高画質も可能。	表面硬度	× 表面のラミネート材は主に塩ビのため、キズに弱い。
メンテナンス	△ 3年以内にメンテナンス必要。	まとめ	○ コストが安価で高画質のため、商業サインでは主流の表現方法。

	福岡	阿蘇
全体案内サイン1500×1700H		
校正、版下制作費	250,000	
標示面印刷費(パネル含む)	540,000	
本体	550,000	249,000
基礎	23,700	
経費 60%	818,220	
計	2,181,920	
改計	2,181,000	
エリア案内サイン 900×1700H		
校正、版下制作費	150,000	
標示面印刷費(パネル含む)	324,000	
本体	400,000	192,000
基礎	15,700	
経費 60%	533,820	
計	1,423,520	
改計	1,420,000	
定点サイン 600×1700H		
校正、版下制作費	72,000	
標示面印刷費(パネル含む)	216,000	
本体	270,000	188,000
基礎	9,700	
経費 60%	340,620	
計	908,320	
改計	910,000	
誘導サイン(1面)300×1700H		
校正、版下制作費	39,000	
標示面印刷費(パネル含む)	90,000	
本体	150,000	156,000
基礎	7,100	
経費 60%	286,100	
計	572,200	
改計	570,000	
誘導サイン(2面)300×1700H		
校正、版下制作費	780,000	
標示面印刷費(パネル含む)	180,000	
本体	230,000	175,000
基礎	8,200	
経費 60%	297,720	
計	793,920	
改計	790,000	

	福岡	阿蘇
全体案内サイン1500×1700H		
校正、版下制作費	250,000	
標示面印刷費(パネル含む)	126,000	
本体	550,000	249,000
基礎	23,700	
経費 60%	569,820	
計	1,519,520	
改計	1,520,000	
エリア案内サイン 900×1700H		
校正、版下制作費	150,000	
標示面印刷費(パネル含む)	76,000	
本体	400,000	192,000
基礎	15,700	
経費 60%	385,020	
計	1,026,720	
改計	1,030,000	
定点サイン 600×1700H		
校正、版下制作費	72,000	
標示面印刷費(パネル含む)	50,000	
本体	270,000	188,000
基礎	9,700	
経費 60%	241,020	
計	642,720	
改計	640,000	
誘導サイン(1面)300×1700H		
校正、版下制作費	39,000	
標示面印刷費(パネル含む)	21,000	
本体	150,000	156,000
基礎	7,100	
経費 60%	130,260	
計	347,360	
改計	350,000	
誘導サイン(2面)300×1700H		
校正、版下制作費	780,000	
標示面印刷費(パネル含む)	42,000	
本体	230,000	175,000
基礎	8,200	
経費 60%	214,920	
計	573,120	
改計	570,000	

■屋外広告物規制概要図
 (平成12年4月1日現在)



■屋外広告物規制概要

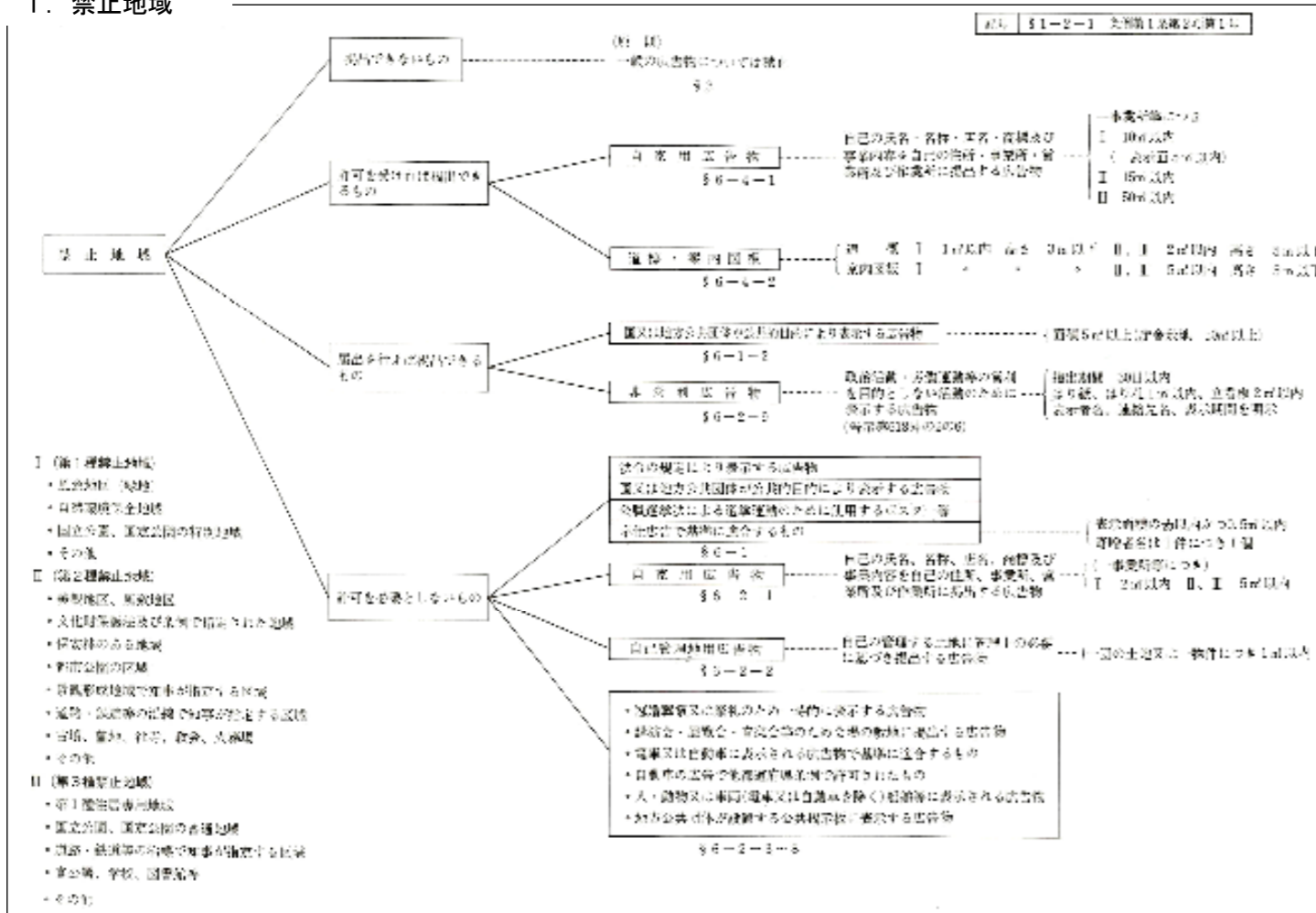
阿蘇地域は、「熊本県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物を規制している。

大きくは、「1. 禁止地域（第1種～第3種）」と「2. 許可地域（第1種～第3種）」に分けられ、それぞれ地域特性に応じた規制が行われている。

掲出の際は、地域の種別に応じて「許可」や「届出」が必要となる場合があるため、注意する。

詳細は、熊本県阿蘇地域振興局土木部まで。

1. 禁止地域



2. 許可地域

